

1 目 的

- (1) 検査問題の妥当性を検証し、今後の内容・形式等の改善に役立てる。
- (2) 受験者の学習成果の実態を明らかにし、県下中学校の学習指導上の課題を考察し、改善の指針を示す。

2 学力検査の実施教科
国語、社会、数学、理科、英語

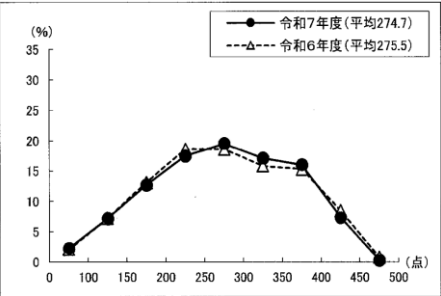
3 分析結果
(1) 平均点

教科	国語	社会	数学	理科	英語	総点	受験者数
平均	58.6 (59.0)	56.1 (59.6)	47.0 (49.9)	57.4 (56.6)	55.5 (50.4)	274.7 (275.5)	12,910人 (13,149人)
最高	94 (96)	100 (100)	100 (100)	98 (100)	100 (100)	467 (479)	
最低	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
中央値	61 (61)	57 (61)	47 (51)	58 (57)	56 (46)	276 (274)	
最頻値	69 (63)	68 (82)	44 (54)	67 (57)	44 (23)	275 (220)	
合格者平均	58.8 (59.0)	56.2 (59.4)	47.1 (49.8)	57.6 (56.5)	55.6 (50.1)	275.4 (274.8)	

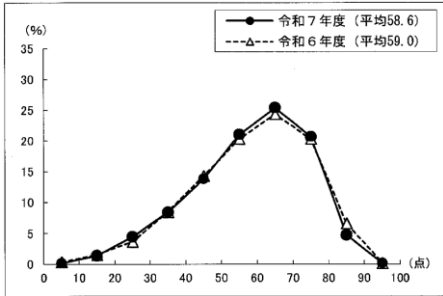
※ 数値は、全日制課程受験者の値
※ () は昨年度の値

(2) 総点及び各教科の得点分布

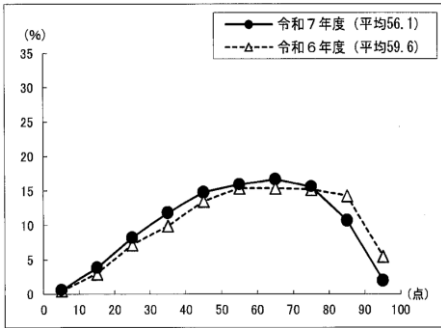
総点



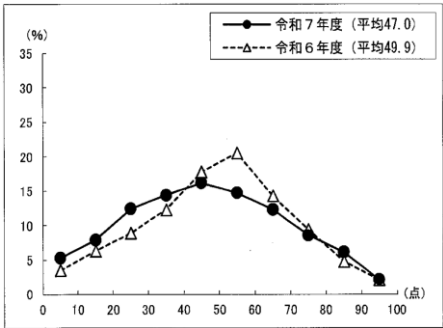
国語



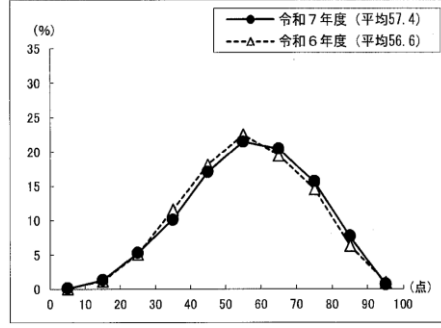
社会



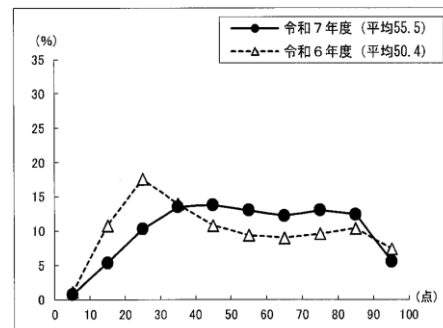
数学



理科



英語



(3) 各教科の概況

全日制課程の学校・学科の中から学力検査総点の受験者平均点を基にして50校・学科を抽出、さらに調査書総点ごとのバランスに留意して合計400人の答案を抽出し、教科ごと、小問ごとにその状況を分析考察した。

教科	概 況
国語	漢字の読み書きや、説明的な文章を読んで、筆者の論の進め方を捉えることはできているが、文章の表現の特徴を捉えることや、古典に表れたものの見方や考え方を捉えることに課題が見られた。
社会	日本の地域的特色や人権尊重の理解、資料から基本的な情報を読み取ることはできているが、歴史的事象を関連付けて捉えることや、複数の資料を活用して論理的に考察し表現することに課題が見られた。
数学	数と式の計算に関する基本的な知識・技能の定着は見られるが、条件を読み取り、数学的に処理、表現することや、問題解決への見通しを持ち、数学的に考察し処理することに課題が見られた。
理科	自然の事物・現象についての基本的な知識や観察・実験の基本的な技能は身に付いているが、観察・実験の結果を分析・解釈し、関係性や規則性を見いだすことや、知識を活用して表現することに課題が見られた。
英語	簡潔な資料から情報を読み取ること、意欲的に自分の考えを伝えようとするということについては学びの成果が見られるが、英文の概要や要点を把握することや、正確な英語で自分の考えを書くことに課題が見られた。
まとめ	基本的な知識や事象の理解は定着しており、与えられた情報から必要なものを読み取る基礎的な能力は身に付いている。一方、複数の資料から情報を読み解き、関係性や規則性を見いだす力や、論理的に考察し、自分の考えを明確に表現することに課題が見られた。

(4) 今後の対応

知識・技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成するため、生徒が主体的に学習活動に取り組む場面の設定などの工夫や、授業の構成及び指導のあり方の改善が必要である。

教科	授業づくりのポイント
国語	○文章中の表現の効果について、根拠を明確にしながら自分の考えを書いたり発表したりする活動の充実 ○古典について解説した文章、音声や映像メディア等を活用するなど古典の世界を想像できる活動の充実
社会	○地理的・歴史的・公民的な見方・考え方を働かせ、有機的に関連付けができる題材や問いの工夫 ○諸資料を活用し、情報を収集する活動、収集した情報を読み取り、まとめる活動の実践
数学	○スモールステップでの指導による、順序立てて考察する活動の充実 ○解決の見通しや考察した過程、根拠を確認する対話的な活動の充実
理科	○観察、実験の結果について、関係性や規則性を見いだす活動の時間確保 ○探究の過程を通して、表現力の育成につながる言語活動の充実
英語	○英文読解時における、時系列に情報を整理したり、大まかな内容を把握したりする活動の充実 ○言語活動時における、生徒の気付きを促しながら、表現の正確性が高まるような指導の実践

令和7年度

公立高等学校入学者選抜
学力検査の分析結果

宮城県教育委員会

ま え が き

本報告は、令和7年度宮城県公立高等学校入学者選抜における第一次募集本試験（令和7年3月4日実施）の結果について、分析及び考察を示したものです。

公立高等学校の入学者選抜学力検査問題については、入学者の選抜に際し極めて重要な資料となることから、中学校学習指導要領の趣旨に即し、その実現に資する出題内容となっているか、中学校において育成することを目指す資質・能力の状況を適切に測ることができているかなど、これまでも、継続的な調査研究に取り組み、出題方法の工夫や改善に努めてきたところです。

また、入学者選抜学力検査は、義務教育段階の終わりまでに育成することを目指す資質・能力の状況を測ることができるものであり、中学校において学習指導の充実・改善を図るための重要な基礎資料として、当該検査の結果の精緻な分析は大きな意味があります。

これらを踏まえ、次の二点を目的として分析及び考察を進めました。

- 1 検査問題の妥当性を検証し、今後の内容・形式等の改善に役立てる。
- 2 受験者の学習成果の実態を明らかにし、県下中学校の学習指導上の課題を考察し、改善の指針を示す。

一方、高等学校においても、本報告に示すデータや考察は、中学校教育までの学習の成果の円滑な接続、生徒の実態に応じた指導計画の作成、指導内容や指導方法の工夫のための有用な情報であると考えます。

中学校及び高等学校においては、生徒一人一人が育成を目指す資質・能力を確実に身に付けることを目指し、カリキュラム・マネジメントの充実、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善などに取り組んでいるところですが、本報告を積極的に活用することにより、これらを一層促進し、中学生及び高校生にとってより質の高い、豊かな学びが実現されることを切に期待しています。

令和7年7月

宮城県教育委員会教育長 佐 藤 靖 彦

目 次

I	受験状況	3
II	出題の基本方針	3
III	学力検査の結果（全日制受験者）	
1	総点	3
2	各教科の成績	3
3	各教科の得点分布	4
IV	各教科の分析	
1	標本の抽出	4
2	分析の方法	4
3	各教科の分析結果の概況	5
	（1）社会	
	・出題のねらいと内容・結果の考察	6
	・正答率・無答率・得点率・その他	8
	・問題	9
	・正答と配点	17
	（2）数学	
	・出題のねらいと内容・結果の考察	18
	・正答率・無答率・得点率・その他	20
	・問題	21
	・正答と配点	29
	（3）理科	
	・出題のねらいと内容・結果の考察	30
	・正答率・無答率・得点率・その他	32
	・問題	33
	・正答と配点	41
	（4）英語	
	・出題のねらいと内容・結果の考察	42
	・正答率・無答率・得点率・その他	44
	・問題	45
	・「放送によるテスト」台本	54
	・正答と配点	57
	（5）国語	
	・出題のねらいと内容・結果の考察	58
	・正答率・無答率・得点率・その他	60
	・正答と配点	62
	・問題	63

※（5）「国語」については、『問題』を右から左に進む向きに頁割付するため、『問題』と『正答と配点』の掲載順を他教科とは逆にしている。

I 受験状況

表1に今年度及び前年度の学力検査の全教科受験者数を示す。

表1 年度別学力検査受験者数

年 度	全日制	定時制	計
令和7年度	12,910	371	13,281
令和6年度	13,149	362	13,511

II 出題の基本方針

中学校学習指導要領に示されている目標や内容を踏まえ、基礎的・基本的な知識及び技能並びに習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を総合的にみることをねらいとした。また、各教科とも履修学年や分野・領域、難易度のバランス、問題の分量について配慮し、受験生の多様な能力を捉えることができるように工夫した。

III 学力検査の結果（全日制受験者）

1 総 点

全教科受験者の総点について、表2に度数分布表を、図1に相対度数分布図を示す。

表2 総点の度数分布表

得点区分	令和7年度		令和6年度
	人数	割合(%)	割合(%)
0～100	292	2.3	2.1
101～150	936	7.2	7.2
151～200	1,642	12.7	13.1
201～250	2,262	17.5	18.6
251～300	2,520	19.5	18.6
301～350	2,211	17.1	15.8
351～400	2,060	16.0	15.3
401～450	952	7.4	8.5
451～500	35	0.3	0.8
計	12,910	100.0	100.0

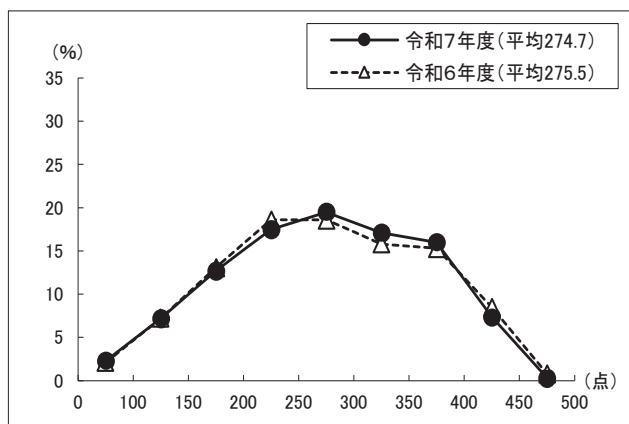


図1 総点の相対度数分布図

2 各教科の成績

表3に各教科の受験者の平均点等と、合格者の平均点を示す。

表3 各教科の平均点等

教科 区分		国語	社会	数学	理科	英語	総点
受 験 者	平 均	58.6 (59.0)	56.1 (59.6)	47.0 (49.9)	57.4 (56.6)	55.5 (50.4)	274.7 (275.5)
	最 高	94	100	100	98	100	467
	最 低	0	0	0	0	0	0
	中央値	61	57	47	58	56	276
	最頻値	69	68	44	67	44	275
	合格者平均	58.8	56.2	47.1	57.6	55.6	275.4

() 内は前年度の平均点

3 各教科の得点分布

今年度及び前年度の国語、社会、数学、理科、英語の得点の相対度数分布図を、以下に示す。

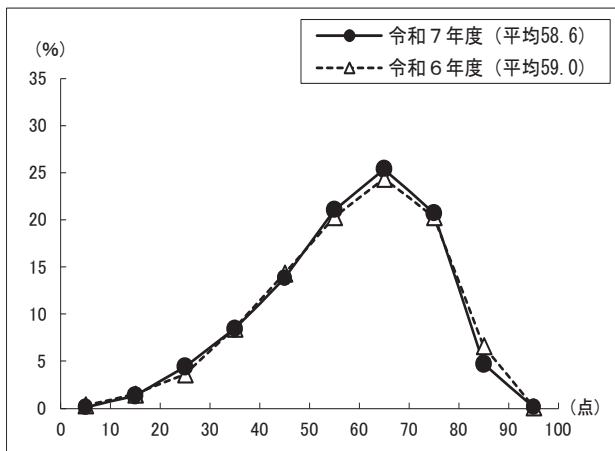


図2 国語

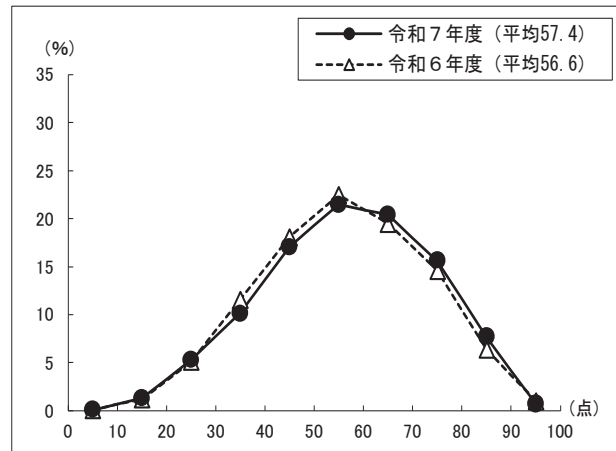


図5 理科

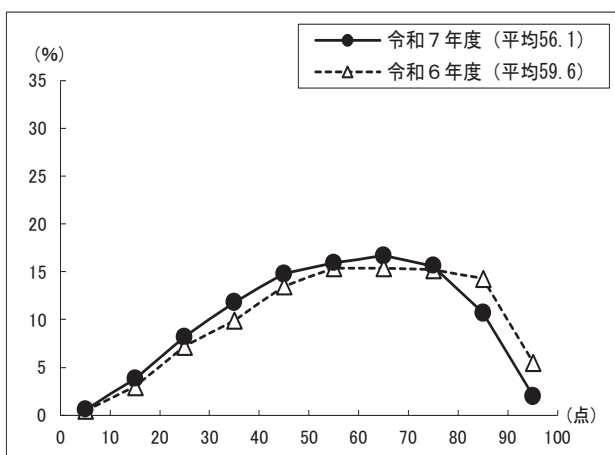


図3 社会

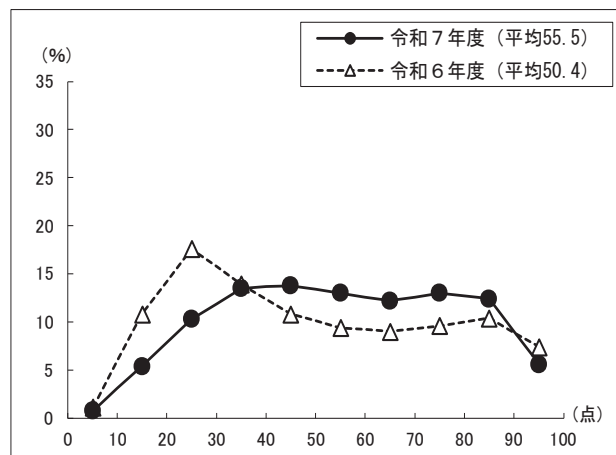


図6 英語

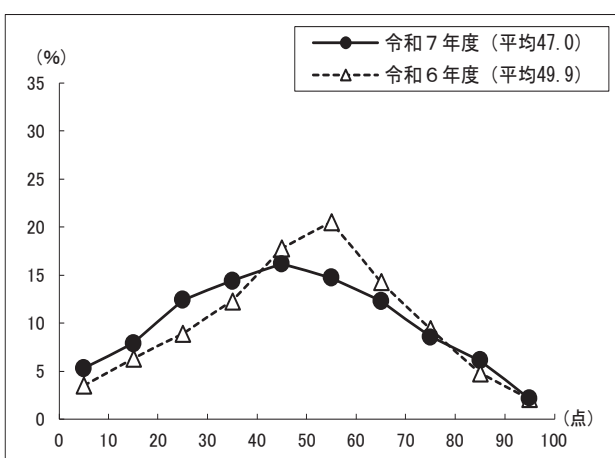


図4 数学

IV 各教科の分析

1 標本の抽出

分析等の調査は、抽出した標本によって行った。
標本については、まず全日制の学校・学科の中から学力検査総点の受験者平均点を基にして50校・学科を抽出し、さらに調査書総点ごとのバランスに留意して合計400人を抽出し標本とした。

2 分析の方法

小問ごとに正答率（完全正答の割合）、無答率を算出し、得点率（配点に対する平均点の割合）も算出した。加えて、標本を調査書総点を基に三つの階層に分け、それぞれの階層別の得点率も算出した。さらに、誤答例・誤答傾向について、できるだけ詳細に取り上げ、分析を行った。

3 各教科の分析結果の概況

国語 平均点 58.6点（前年度比 -0.4）

文章の表現の特徴を捉えること、古典に表れたものの見方や考え方を捉えることに課題

学びの成果

- ・ 漢字の読み書きや行書の特徴についての基本的な知識が定着している。
- ・ 説明的な文章を読んで、筆者の論の進め方を捉えることができています。

課題

- ・ 文章の表現の特徴を捉えることに課題がある。
- ・ 現代語訳などを手がかりに、古典に表れたものの見方や考え方を捉えることに課題がある。

授業づくりのポイント

- ・ 文章中の特徴的な表現の効果について、根拠を明確にししながら自分の考えを書いたり発表したりする活動を充実させる。
- ・ 現代語訳や古典について解説した文章、音声や映像メディアを活用するなどして、生徒が古典の世界を想像できるようにする。

社会 平均点 56.1点（前年度比 -3.5）

複数の資料から情報を読み取り、社会的な見方・考え方を働かせて考察し、表現することに課題

学びの成果

- ・ 日本の地域的特色や人権の尊重に関する基本的な事象・用語が理解できている。
- ・ 資料から、考察するのに必要な基本的な情報を読み取ることができています。

課題

- ・ 歴史に関わる事象を時期や年代、相互の関連などに着目して捉えることに課題がある。
- ・ 複数の資料から読み取った情報を活用して、論理的に考察し、表現することに課題がある。

授業づくりのポイント

- ・ 社会的事象に対する地理的・歴史的・公民的な見方・考え方を働かせ、有機的に関連付けができるよう、授業で扱う題材や問いを工夫する。
- ・ 地図や年表、統計などの諸資料を活用する機会を多くし、情報を収集する活動、収集した情報を読み取り、まとめる活動を取り入れる。

数学 平均点 47.0点（前年度比 -2.9）

与えられた条件を読み取り数学的に処理すること、数学的な表現を用いて、筋道を立てて説明することに課題

学びの成果

- ・ 数と式の領域における基礎的・基本的な計算の知識・技能が身に付いている。

課題

- ・ 与えられた条件を正しく読み取り、数学的に

処理したり、表現して説明したりすることに課題がある。

- ・ 問題解決の見通しをもち、数学的に考察し、処理することに課題がある。

授業づくりのポイント

- ・ 与えられた条件を基に問題を細分化して提示し、スモールステップで指導を行い、順序立てて考察する活動を充実させる。
- ・ 問題解決の過程において、対話的活動を通して、解決への見通しや、考察した過程の正確性、根拠の妥当性を確認する活動を充実させる。

理科 平均点 57.4点（前年度比 +0.8）

実験結果を分析して解釈し、関係性や規則性を見いだすことや考えを表現することに課題

学びの成果

- ・ 自然の事物・現象についての基本的な知識が定着している。
- ・ 観察、実験に関する基本的な技能が身に付いている。

課題

- ・ 観察、実験で得られた結果を分析して解釈し、関係性や規則性を見いだしたり、考察したことを表現したりすることに課題がある。
- ・ 資料を読み取って科学的に考察し、習得した知識を活用して表現することに課題がある。

授業づくりのポイント

- ・ 観察、実験の結果を分析し、関係性や規則性を見いだす活動の時間を十分確保する。
- ・ 探究の過程を通して、生徒が自らの考えを説明したり、文章で表現したりするなど、表現力の育成につながる言語活動を充実させる。

英語 平均点 55.5点（前年度比 +5.1）

英文を読んで概要や要点を捉えること、自分の考えやその理由を正確に書いて伝えることに課題

学びの成果

- ・ 簡単な語句で書かれた資料から、必要な情報を読み取ることができています。
- ・ 自分の考えを相手に書いて伝えようとする意欲がみられる。

課題

- ・ まとまった量の英文を読み、全体の流れを捉えて概要や要点を把握することに課題がある。
- ・ 自分の考えやその理由を、正確な英語で書いて伝えることに課題がある。

授業づくりのポイント

- ・ 文章全体を読んだ上で、時系列に情報を整理したり、書き手が伝えたいことの大まかな内容を把握したりする活動を充実させる。
- ・ 言語活動時の中間指導の場면을効果的に活用し、生徒の気付きを促しながら、表現の正確性が高まるよう指導する。

1 出題のねらいと内容

地理、歴史、公民に関する知識及び調査や諸資料から情報を読み取りまとめる技能並びに社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察するために必要な思考力、判断力、表現力等を総合的にみることをねらいとした。

第一問では、「人権保障のあゆみ」を題材とし、人権思想の確立や人権保障の広がりに係る歴史や公民に関する知識をみようとした。

第二問では、「中国・四国地方の自然環境と産業」を題材とし、日本地理に関する知識及び地図や統計資料から情報を読み取る技能並びに岡山県の果樹生産について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第三問では、「日本における外来文化の受容」を題材とし、古代から近代までの歴史に関する知識及び明治初期の技術者の養成について、

資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第四問では、「行政の役割と新たな取り組み」を題材とし、民主政治の仕組みや役割に関する知識及び行政と民間との連携について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第五問では、「アフリカ州の発展に向けて」を題材とし、世界地理に関する知識及び統計資料から情報を読み取る技能並びに日本とアフリカ州との関係について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第六問では、「環境問題と私たちの生活」を題材とし、環境問題に係る公民や歴史に関する知識及び京都市の環境問題への対策について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

2 結果の考察

＜第一問＞歴史的分野を中心とする公民的分野との融合問題

歴史に関わる事象を時期や年代、相互の関連などに着目して理解することに課題

1 (2) 17世紀から18世紀に欧米諸国で起こった市民革命について述べた文を年代の古い順に並べかえる問題。正答率は28.5%と低かった。欧米諸国の社会の様子や、近代民主政治が確立するまでの過程を捉えきれていないといえる。時期や年代に着目しながら、事象を相互に関連付けて理解させたい。

4 1948年に国際連合の総会で採択され、人権保障の基準として示されたものの名称を記述する問題。得点率は37.8%にとどまった。

誤答には、「国際人権規約」が多くみられ、「世界人権宣言」と混同したものと考えられる。国際機構や条約、宣言は、名称などの知識の習得にとどまらず、その目的や制定された社会的背景とも関連付けて理解を図りたい。

＜第二問＞地理的分野を中心とする問題

問われていることを正確に理解し、資料の情報を基に考察し、表現することに課題

1 中国・四国地方の気候の特色について、正しい組合せを選択する問題。正答率は78.3%で、全問題中で最も高かった。中国・四国地方の地域的特色について、基礎的・基本的な事項は理解できているといえる。

3 (3) 岡山県吉備中央町の「ぶどう生産団地」の取り組みを題材とし、果実生産における変化について複数の資料を基に説明する問題。「ぶどう生産団地」での取り組み前の農業の様子や、一部の資料から読み取れた情報だけを記述したものが多くみられた。何を問われているのか正確に判断し、複数の資料から情報を読み取る技能と、読み取ったことから考察し、表現する力を伸ばしたい。

＜第三問＞歴史的分野を中心とする問題

日本の各時代の特色を世界の歴史と関連付けて考察し、説明することに課題

- 3 16世紀の世界の様子として適切なものを選択する問題。正答率は42.5%であった。誤答の55.2%が十字軍について記述された選択肢を選んでおり、新航路の開拓の動きに伴って鉄砲やキリスト教が日本に伝来したという推移の理解が不十分であった。日本の各時代の特色と、中世から近世の世界の歴史を関連付けて、考察する場面を大切にしたい。
- 5 明治時代の工部大学校の役割について、複数の資料を基に説明する問題。資料から、「外国人教師の指導」という部分を読み取れていないものが、誤答の49.0%を占めていた。資料から、様々な情報を歴史的な見方・考え方を働かせて読み取る技能を育成したい。

＜第四問＞公民的分野を中心とする問題

国会を中心とする民主政治の仕組みを理解することに課題

- 1 (1) 内閣が国会の信任に基づいて組織される制度の名称を記述する問題。得点率は44.3%にとどまり、c層の得点率は14.6%であった。誤答では、「内閣不信任の決議」、「議員内閣制」が多くみられた。政治に関する

基礎的事項の理解に加え、法に基づく民主政治についての関心を高め、主権者として政治に参画しようとする態度が育成できるよう指導の工夫を図りたい。

＜第五問＞地理的分野を中心とする公民的分野との融合問題

複数の資料から読み取った情報を整理・活用して表現することに課題

- 4 (1) アフリカ州の4か国の輸出入に関する資料から読み取れることを選ぶ問題。統計の数値や割合など、資料のきまりに留意して情報を読み取る技能が身に付いているといえる。
- 4 (2) アフリカ開発会議を通じて、日本はアフリカ州の国々とのような関係を築こうとしているか、資料を基に説明する問題。得点率は48.8%であった。考察に必要な基本的な情報は読み取れているが、複数の資料から読み取れる情報を活用して説明するまでに至らない解答が多かった。課題を追究する学習において、複数の資料を活用して事象を説明する活動や、自分の解釈を加えて論述するなどの活動の一層の充実が望まれる。

＜第六問＞公民的分野を中心とする歴史的分野との融合問題

資料から収集した情報を関連付けて、論理的に説明することに課題

- 5 京都市の食品ロス削減に向けた取り組みについて資料を基に説明する問題。具体的な取り組みや工夫には触れていたが、事業ゴミの内訳に関する資料や、家庭ゴミと事業ゴミの削減目標設定に関する資料と関連付けて説明できていない解答が多かった。考察に必要な情報を合理的な基準で収集、選択し、分析して適切にまとめる活動を取り入れたい。

問題			正答率 →	← 無答率	得点率	調査書総点別得点率 (a:135～111点 b:110～88点 c:87～48点)
第一問	1	(1) 多肢選択 歴史・公民 (近代)	43.0%	0.0%	43.0%	a: 58.3% b: 39.2% c: 34.8%
		(2) 並べ替え 歴史 (近代)	28.5%	0.0%	28.5%	a: 40.9% b: 23.9% c: 23.2%
	2	多肢選択 歴史 (近代)	44.3%	0.0%	44.3%	a: 61.7% b: 36.9% c: 37.4%
	3	多肢選択 公民 (人権)	71.5%	0.0%	71.5%	a: 93.0% b: 51.0% c: 76.9%
	4	語句記述 公民 (国際)	36.8%	11.3%	37.8%	a: 59.7% b: 36.9% c: 22.2%
第二問	1	多肢選択 日本地理 (気候)	78.3%	0.0%	78.3%	a: 98.3% b: 86.2% c: 56.8%
	2	多肢選択 日本地理 (産業)	54.8%	0.3%	54.8%	a: 67.8% b: 54.6% c: 45.2%
	3	(1) 語句記述 日本地理 (農業)	51.8%	4.8%	61.9%	a: 75.9% b: 66.2% c: 48.0%
		(2) 多肢選択 日本地理 (産業)	70.8%	0.5%	70.8%	a: 87.8% b: 73.1% c: 56.1%
		(3) 論述 日本地理	46.0%	5.0%	67.9%	a: 83.8% b: 79.1% c: 46.6%
第三問	1	並べ替え 歴史 (古代～中世)	48.5%	0.0%	48.5%	a: 73.0% b: 46.9% c: 31.6%
	2	多肢選択 歴史 (中世)	49.8%	0.0%	49.8%	a: 61.7% b: 46.9% c: 43.2%
	3	多肢選択 歴史 (近世)	42.5%	0.0%	42.5%	a: 55.7% b: 46.9% c: 29.0%
	4	語句記述 歴史 (近世)	61.0%	7.8%	69.0%	a: 92.2% b: 73.1% c: 48.4%
	5	論述 歴史 (近代)	22.3%	10.3%	50.1%	a: 67.7% b: 53.1% c: 34.6%
第四問	1	(1) 語句記述 公民 (政治)	40.0%	16.5%	44.3%	a: 80.0% b: 48.2% c: 14.6%
		(2) 多肢選択 公民 (政治)	62.3%	0.3%	62.3%	a: 83.5% b: 62.3% c: 46.5%
	2	多肢選択 公民 (政治)	51.8%	0.0%	51.8%	a: 72.2% b: 52.3% c: 36.1%
	3	多肢選択 公民 (政治)	51.3%	0.5%	51.4%	a: 80.0% b: 51.3% c: 30.3%
	4	論述 公民	24.8%	12.8%	43.2%	a: 65.2% b: 49.1% c: 21.9%
第五問	1	多肢選択 世界地理 (地図)	55.8%	0.5%	55.8%	a: 86.1% b: 58.5% c: 31.0%
	2	語句記述 公民 (国際)	45.0%	10.8%	45.5%	a: 77.7% b: 52.6% c: 15.7%
	3	多肢選択 世界地理・公民 (国際)	47.8%	0.8%	47.8%	a: 64.4% b: 46.9% c: 36.1%
	4	(1) 多肢選択 世界地理 (輸出入)	64.3%	1.3%	64.3%	a: 91.3% b: 64.6% c: 43.9%
		(2) 論述 地理・公民	21.0%	14.8%	48.8%	a: 66.3% b: 53.7% c: 31.7%
第六問	1	多肢選択 歴史 (近代)	48.5%	0.0%	48.5%	a: 57.4% b: 45.4% c: 44.5%
	2	多肢選択 歴史・公民 (現代)	56.3%	0.0%	56.3%	a: 73.0% b: 56.9% c: 43.2%
	3	並べ替え 歴史・公民 (現代)	50.5%	0.5%	50.5%	a: 51.3% b: 55.4% c: 45.8%
	4	語句記述 公民 (国際)	45.0%	17.3%	45.3%	a: 75.7% b: 50.3% c: 18.7%
	5	論述 公民	34.0%	5.8%	61.4%	a: 77.9% b: 65.9% c: 45.4%
計					53.3%	a: 72.6% b: 55.6% c: 37.0%

令和 7 年度
公立高等学校入学者選抜学力検査問題
社 会

第 一 問 人権保障のあゆみについて、資料 A を読んで、あとの 1～4 の問いに答えなさい。

資料 A 人権保障のあゆみ

すべての人間が、生まれながらにして持つ、人間らしく生きるための権利を人権といいます。①17世紀から18世紀に欧米諸国で起こった市民による革命のなかで、人権思想が発達しました。②19世紀に社会や市民生活が変容すると、人々が保障を求める人権の範囲も拡大し、③20世紀には各国の憲法によって人権が保障されるようになりました。国際連合は、1948年の総会で ④ を採択し、その後も、人種や性別、住んでいる国や地域にかかわらず、あらゆる立場の人々に人権が保障されるよう、さまざまな条約を採択しています。

1 下線部①について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 社会契約説を唱え、17世紀から18世紀に欧米諸国で起こった市民による革命に影響を与えたイギリスの思想家として、最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア ロック イ モンテスキュー ウ ルソー エ ガンディー（ガンジー）

(2) 17世紀から18世紀に欧米諸国で起こった市民による革命について述べた次のア～ウの文を、起こった年代の古い順に並べかえ、記号で答えなさい。

ア フランスで、革命を支持する人々が議会を結成し、人権宣言を発表した。

イ イギリスで、議会を尊重する王が選ばれ、権利の章典（権利章典）が定められた。

ウ アメリカで、独立を主張する人々が戦争を起し、独立宣言を発表した。

2 下線部②に関して、19世紀の欧米諸国の社会のようすについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア イタリアで、人間の個性や自由を表現するルネサンスが起こり、ヨーロッパ各地に広まった。

イ アメリカで、株価が大暴落したことをきっかけに深刻な不況となり、世界恐慌につながった。

ウ ドイツで、教皇や教会の権威を否定し、聖書を信仰の中心におく宗教改革が始まった。

エ イギリスで、産業革命の進展により、資本家との格差の広がった労働者が労働組合を結成した。

3 下線部③について、資料 B は20世紀にドイツで制定された憲法の一部です。資料 B に示された内容を含む権利として、最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア 自由権 イ 平等権

ウ 社会権 エ 参政権

資料 B 20世紀にドイツで制定された憲法の一部

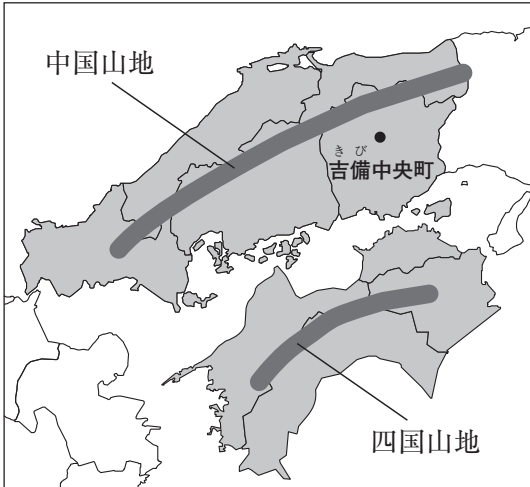
第151条

経済生活の秩序は、すべての人に人間に値する生存を保障することを目指す、正義の諸原則にかなうものでなければならない。（以下略）

4 ④ にあてはまる、1948年に国際連合の総会で採択され、人権保障の基準として示されたものを書きなさい。

第 二 問 美希さんは、社会科の授業で、「中国・四国地方の自然環境と産業」について調べ、資料Aを作成しました。これをみて、あとの1～3の問いに答えなさい。

資料A 中国・四国地方の自然環境と産業



- 中国山地より北の地域は山陰、四国山地より南の地域は南四国、中国山地と四国山地にはさまれた地域は瀬戸内とよばれ、3つの地域では①異なる気候の特色がみられます。
- 工業については、波が穏やかで、海上輸送に適している瀬戸内海の沿岸に工業用地が整備され、②瀬戸内工業地域として発展してきました。
- 農業については、3つの地域で、地形を有効に活用したり、気候に適した作物を栽培したりするなど、それぞれで③自然環境に合わせた農業が行われてきました。

1 美希さんは、下線部①について調べ、わかったことをメモに記しました。 a ～ c にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものを、次のア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア a - 北西 b - 南東 c - 多い
 イ a - 北西 b - 南東 c - 少ない
 ウ a - 北西 b - 北西 c - 多い
 エ a - 南東 b - 北西 c - 少ない
 オ a - 南東 b - 北西 c - 多い
 カ a - 南東 b - 南東 c - 少ない

メモ

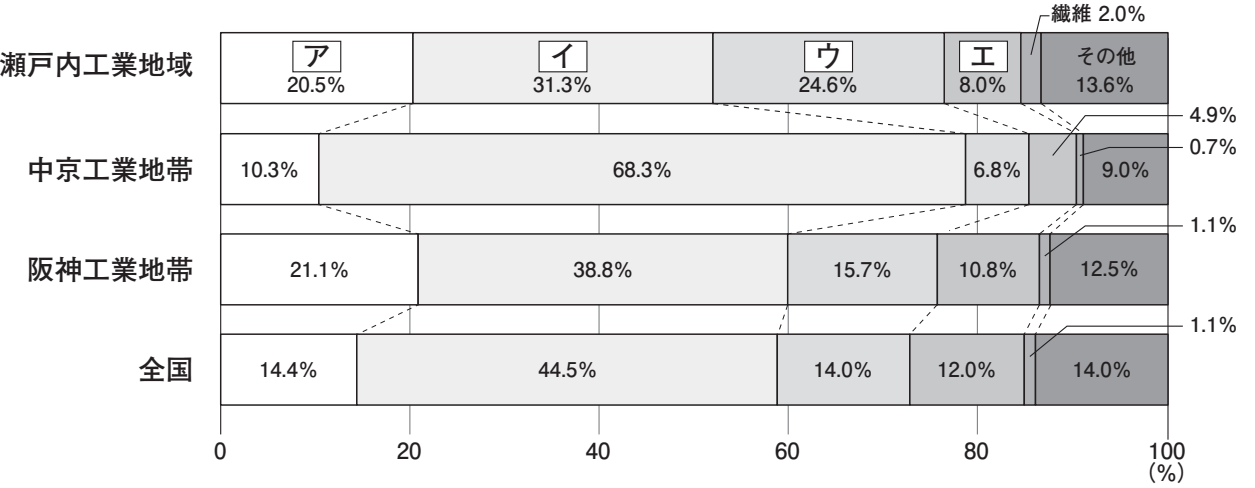
山陰では、冬に a から季節風が吹く影響で、冬の降水量が多い。

南四国では、夏に b から季節風が吹く影響で、夏の降水量が多い。

瀬戸内では、中国山地と四国山地が季節風をさえぎるため、年間を通じて降水量が c 。

2 下線部②について、美希さんは、瀬戸内工業地域の特徴を調べるために、瀬戸内工業地域、中京工業地帯、阪神工業地帯、全国の製造品出荷額等の構成について調べ、資料Bを作成しました。資料B中の ア ～ エ は、化学工業、機械工業、金属工業、食料品工業のいずれかを示しています。このうち、化学工業を示すものとして、正しいものを、資料B中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料B 瀬戸内工業地域、中京工業地帯、阪神工業地帯、全国の製造品出荷額等の構成 (2021年)



(「日本国勢図会2024/25」より作成)

3 下線部③について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 南四国で行われている、ビニールハウスなどを利用して、野菜などの生育期間を短縮し、出荷時期を調整する栽培方法を何というか、書きなさい。
- (2) 美希さんは、中国・四国地方の農業産出額の推移について調べ、資料Cを作成しました。資料Cから読みとれることとして、最も適切なものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料C 中国・四国地方の農業産出額の推移

	農業産出額 (億円)		農業産出額の内訳(億円)									
			米		野菜		果実		畜産		その他	
	中国	四国	中国	四国	中国	四国	中国	四国	中国	四国	中国	四国
2010年	4,120	3,942	1,115	513	799	1,324	465	742	1,480	928	261	435
2015年	4,381	4,101	1,012	438	825	1,453	513	762	1,795	1,035	236	413
2020年	4,577	4,103	1,003	508	945	1,502	590	807	1,797	915	242	371

(注) 数字は四捨五入している。

(「生産農業所得統計」などより作成)

ア 中国地方の農業産出額は、2010年の方が、2020年よりも多い。

イ 2010年の、四国地方の農業産出額全体に占める野菜の産出額の割合は、3割を超えている。

ウ 2015年と2020年を比較すると、両地方とも、野菜の産出額は増加し、米の産出額が減少している。

エ 両地方とも、2020年の畜産の産出額は、2020年の米と果実の産出額の合計よりも多い。

- (3) 美希さんは、中国地方の農業に興味をもち、岡山県吉備中央町のぶどう生産について調べを進め、資料D～Fを作成しました。吉備中央町の「ぶどう生産団地」での取り組みによって、果実の生産においてどのような変化がみられているか、取り組みの内容にふれながら、資料D～Fをもとにして、簡潔に述べなさい。

資料D 吉備中央町の「ぶどう生産団地」での取り組みについて

【取り組み前の農業のようす】

- 2000年ごろ、ぶどうが町の果実生産の約9割を占め、町の特産品となった。
- 町はぶどうの生産規模拡大を試みたが、生産条件の整った農地が不足するとともに、人口減少や高齢化により農業に従事する人も不足していた。

【取り組みの内容】

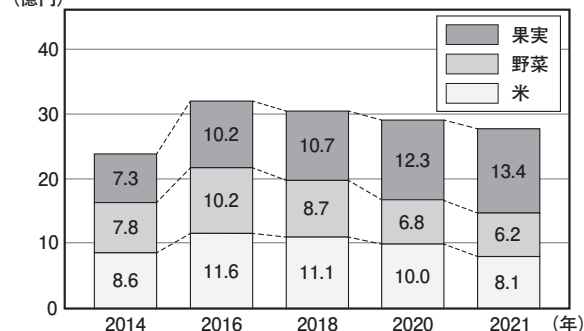
- 2016年、町が主体となり町営牧場の跡地をぶどう畑に改良し、かんがい設備、農作業道などを整備し、「ぶどう生産団地」がつくられた。
- 町の公社が研修用のぶどう畑を用意し、新規就農者を対象に実務的な研修体制を整えた。
- ぶどう生産に従事してきた人々の団体が中心となり、新規就農者に対して栽培技術を伝達し、共同出荷するしくみをつくった。

資料E 吉備中央町のある地区のぶどう農家・農業法人の生産規模の推移

	2014年	2021年
営農規模(面積)(ha)	6.5	16.6
農家・農業法人数(戸)	25	44
経営面積(1戸あたりの面積)(a)	26	37

(注) 営農規模とは、農家等が生産に用いている土地の面積の合計のことである。

資料F 吉備中央町のおもな農産物の産出額の推移(億円)



(資料D、Eは「中国・四国農政局ホームページ」などより、資料Fは「市町村別農業産出額」より作成)

第 三 問 勇治さんは、社会科の授業で、「日本における外来文化の受容」について調べ、次の表を作成しました。これをみて、あとの1～5の問いに答えなさい。

	日本における外来文化の受容に関するおもなできごと
古代	中国や朝鮮半島からやってきた渡来人によって、土器の製造や機織りの技術が伝えられた。朝鮮半島からやってきた渡来人によって、① <u>仏教</u> が伝えられ、寺院や仏像が造られた。
中世	宋から建築技術が伝えられ、新たな建築様式で建造物の再建や造営が行われた。禪宗の僧が中国にわたって ② を学び、日本に持ち帰った。
近世	③ <u>キリスト教</u> の宣教師などによって、キリスト教の教えや天文学が伝えられた。 ④ <u>蘭学</u> を学ぶ人々があられ、医学などの学問が発達した。
近代	都市を中心に、欧米諸国の文化を取り入れた新たな生活様式が広がった。 欧米からの技術者や教師を雇うことで、政府は⑤ <u>産業の振興</u> をはかった。

- 下線部①に関して、日本の仏教に関する古代から中世のできごとについて述べた次のア～ウの文を、起こった年代の古い順に並べかえ、記号で答えなさい。
ア 自然災害や社会の変化によって人々の不安な気持ちが高まり、浄土信仰が都で広まった。
イ 一心に「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えることを説く宗派などが生まれ、武士や民衆に広まった。
ウ 仏教の力によって社会不安から国家を守るという考えのもと、国分寺や国分尼寺が建てられた。
- ② にあてはまるものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
ア 大衆芸能から生まれた能
イ 墨の濃淡で自然を表現する水墨画
ウ 踊りから発達した歌舞伎
エ 浮世絵の多色刷り版画である錦絵
- 下線部③に関して、キリスト教の宣教師が来日した16世紀の世界のようすについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
ア 東アジアに明が建国され、日本などの周辺諸国と朝貢関係を結んだ。
イ 西ヨーロッパ諸国の王や貴族が聖地を奪回するために、十字軍を派遣した。
ウ ドイツが統一されて帝国となり、産業が急速に発展した。
エ マゼランの一行が世界一周に初めて成功し、新しい航路を開拓した。
- 下線部④に関して、杉田玄白や前野良沢らが、オランダ語で書かれた解剖書を翻訳し、日本で出版した書物の名前を何というか、書きなさい。
- 下線部⑤について、勇治さんは、明治時代初期に、鉄道や港湾、電信などの社会基盤の整備や鉱山や製鉄などの基幹産業の育成を担当する工部省のもとに政府が学校を創設したことを知り、資料A、Bを作成しました。この学校は、どのようにして、どのような人材の養成を目指したと考えられるか、資料A、Bをもとにして、簡潔に述べなさい。

資料A 工部省のもとに創設された学校に関する歴史		資料B 工部大学校の開校4年間の卒業生の進路状況（1882年時点）	
年	工部省のもとに創設された学校に関するおもなできごと	進路状況	人数
1873	技術者養成の学校として「工学寮」が創設され、土木、機械、電信、建築、鉱山等の学科が置かれた。イギリスから招かれた教員が、英語で専門的な授業を行った。	工部省の技術職員	67
1877	校名が「工部大学校」に変更された。教員として日本人が初めて採用された。	工部省以外の官庁の技術職員	9
1879	第1回卒業式で23人が卒業し、イギリスに留学する者もいた。	県の技術職員	8
1883	留学から帰国した卒業生の1人が教員として採用された。	工部大学校の教員	12
1885	工部省の廃止により、文部省の管理となった。	工部大学校以外の教員	3
		イギリス留学	12
		その他	5
		合計	116

（資料A、Bともに「日本工業教育成立史の研究」などより作成）

第 四 問 雅美さんは、社会科の授業で、「行政の役割と新たな取り組み」について調べ、資料Aを作成しました。これを読んで、あとの1～4の問いに答えなさい。

資料A 行政の役割と新たな取り組み

行政には、私たちが安心して生活できるようにする役割があります。国の行政は、①内閣が指揮監督し、②予算にもとづいて、各行政機関が公共財の維持管理や公共サービスの提供を行っています。これらの業務を行うためには、安定した③税金の収入によって財源を確保することが必要です。今後、日本では、人口減少や少子高齢化が進み、税収の減少が見込まれます。そこで、行政機関は、④民間事業者との連携を進め、効率的で公正な行政を目指すなど、新たな取り組みを行っています。

1 下線部①について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 内閣は国会によって指名された内閣総理大臣を中心に組織され、国会に対して連帯して責任を負います。このように、内閣が国会の信任にもとづいて組織される制度を何というか、書きなさい。

(2) 雅美さんは、内閣と国会とのかかわりについて調べ、資料Bを作成しました。資料B中の ～ にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア a - 任命 b - 総辞職 c - 総選挙
 イ a - 任命 b - 総選挙 c - 総辞職
 ウ a - 指名 b - 総辞職 c - 総選挙
 エ a - 指名 b - 総選挙 c - 総辞職

資料B 内閣と国会とのかかわりについて

内閣総理大臣は、国会議員のなかから、国会が します。

国会には、内閣に対し、信任・不信任の決議を行う権限があります。内閣不信任の決議が可決された場合、内閣は か、10日以内に衆議院を解散して かのどちらかを行わなければなりません。

2 下線部②について、国の予算案を最初に審議する機関として、正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 内閣 イ 衆議院 ウ 参議院 エ 公正取引委員会

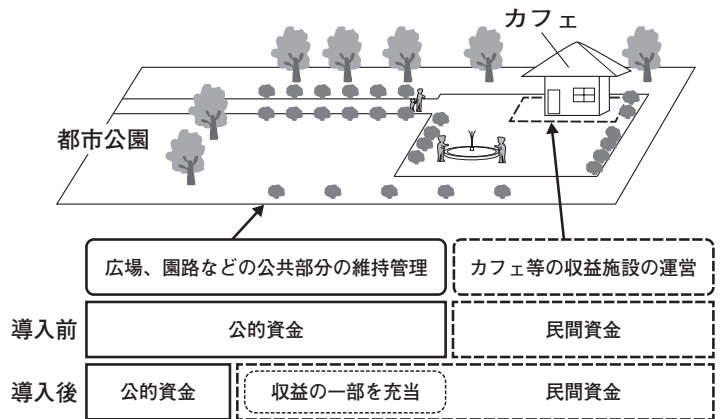
3 下線部③について、所得税に累進課税の制度がとられている理由を述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 税金を納める人と負担する人が異なる間接税とすることで、税収が確保できるため。
 イ 所得に関係なく、同じ金額を納めることで、税の公平性を保つため。
 ウ 市場の独占や寡占を規制し、市場経済における公正さを保つため。
 エ 納税後の所得の格差を縮小し、所得を再分配できるため。

4 下線部④について、雅美さんは、国や地方公共団体と民間事業者とが都市公園の維持管理を連携して行う「Park-PFI」という制度について調べ、資料Cを作成しました。この制度は、国や地方公共団体と、民間事業者にとって、それぞれどのような利点があるか、資料Cをもとにして、簡潔に述べなさい。

資料C Park-PFIの概要

- 国や地方公共団体が、都市公園における施設の維持管理と、都市公園内のカフェなどの収益施設の運営とを一体的に一定期間行う民間事業者を公募する。
- 民間事業者は、民間ならではの手法で収益施設を運営したり、イベントなどを公園の敷地内で開催したりすることができる。



(「国土交通省ホームページ」などより作成)

第 五 問 徹也さんは、社会科の課題で、「アフリカ州の発展に向けて」というテーマで調べ、資料Aを作成しました。これを読んで、あとの1～4の問いに答えなさい。

資料A アフリカ州の発展に向けて

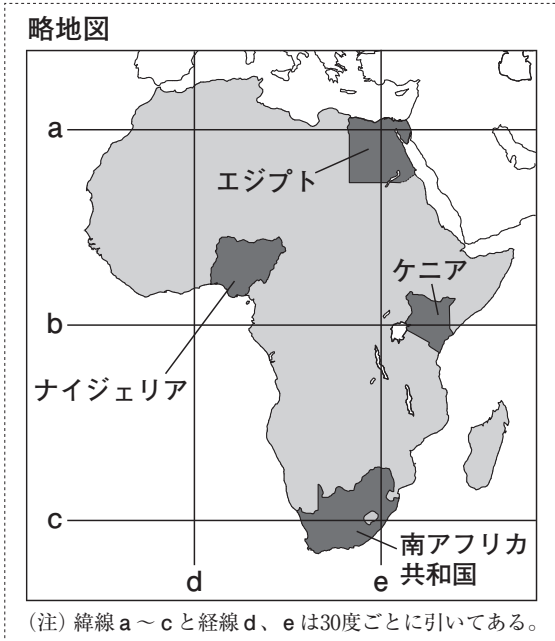
アフリカ州は、①北半球と南半球にまたがり、54の国で構成される地域です。世界の6つの州のなかで、国の数が最も多い州ですが、その大部分は、ヨーロッパ諸国から植民地として支配された歴史をもちます。

1960年にアフリカ州の17の国が一挙に独立し、その後も多くの国が独立を果たしましたが、植民地としての歴史や民族対立を背景として、②発展を遂げつつある国と政治的・経済的に不安定な国とのあいだに格差が生じるようになりました。

現在、アフリカ州の国々は③アフリカ連合（AU）を結成し、政治的・経済的な団結を強めています。日本でもアフリカ州の国々との経済的なつながりを求めて、④南アフリカ共和国やケニアなどの国に多くの企業が進出しています。

1 下線部①について、徹也さんは、アフリカ州の略地図を用意しました。略地図中に示した緯線と経線のうち、赤道と本初子午線の組み合わせとして、最も適切なものを、次のア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 赤道 - a 本初子午線 - d
- イ 赤道 - a 本初子午線 - e
- ウ 赤道 - b 本初子午線 - d
- エ 赤道 - b 本初子午線 - e
- オ 赤道 - c 本初子午線 - d
- カ 赤道 - c 本初子午線 - e



- 2 下線部②について、発展途上国とされる国々のあいだで生じる経済的格差などの問題を何というか、書きなさい。
- 3 下線部③に関して、徹也さんは、アフリカ連合と世界のおもな地域機構について調べを進め、資料B、Cを作成しました。資料C中の ア ～ エ には、資料Bに示した4つの地域機構のいずれかがあてはまります。資料Bを参考にして、アフリカ連合があてはまるものを、資料C中の ア ～ エ から1つ選び、記号で答えなさい。

資料B 世界のおもな地域機構の加盟数（2024年時点）

おもな地域機構	加盟数
東南アジア諸国連合（ASEAN）	10か国
ヨーロッパ連合（EU）	27か国
アフリカ連合（AU）	55か国・地域
アメリカ合衆国・メキシコ・カナダ協定（USMCA）	3か国

資料C 世界のおもな地域機構と日本との比較（2020年）

	人口（億人）	面積（万km ² ）	GDP（兆ドル）
ア	13.4	2,965	2.4
イ	4.5	412	15.3
ウ	5.0	2,178	23.7
エ	6.7	449	3.0
日本	1.3	38	5.0

(注) 数字は四捨五入している。

(資料B、Cともに「世界国勢図会2024/25」などより作成)

4 下線部④について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 徹也さんは、アフリカ州に進出している日本の企業の数が多い国のうち、エジプト、ケニア、ナイジェリア、南アフリカ共和国の4か国を選び、それぞれの国の輸出入の状況について調べ、資料Dを作成しました。資料Dから読みとれることとして、最も適切なものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料D 4か国の輸出入品上位3品目と輸出入総額（2022年）

	輸出品上位3品目 〔輸出総額に占める割合（％）〕	輸出総額 (億ドル)	輸入品上位3品目 〔輸入総額に占める割合（％）〕	輸入総額 (億ドル)
エジプト	液化天然ガス〔18.9〕 石油製品〔10.1〕 野菜・果実〔7.6〕	521	機械類〔13.5〕 石油製品〔6.6〕 プラスチック〔5.8〕	962
ケニア	茶〔18.8〕 切り花・葉〔8.5〕 野菜・果実〔8.2〕	74	石油製品〔24.5〕 機械類〔12.2〕 鉄鋼〔6.0〕	211
ナイジェリア	原油〔78.7〕 液化天然ガス〔10.7〕 化学肥料〔3.0〕	634	石油製品〔39.4〕 機械類〔16.9〕 自動車〔5.0〕	607
南アフリカ共和国	白金族の金属〔13.7〕 石油〔11.0〕 自動車〔9.1〕	1,216	機械類〔20.7〕 石油製品〔17.1〕 自動車〔7.1〕	1,119

(注) 数字は四捨五入している。

(「世界国勢図会2024/25」より作成)

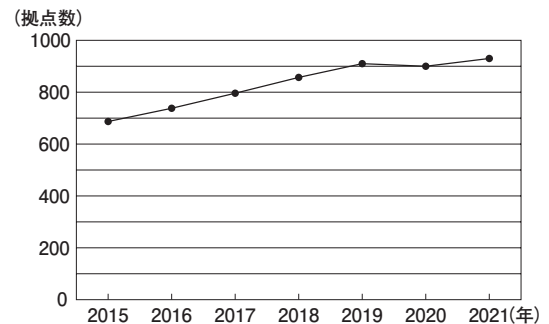
- ア 4か国それぞれで輸出総額と輸入総額を比較すると、いずれも輸入総額の方が大きい。
イ ケニアは、輸出品上位3品目の合計輸出額が、輸出総額の3割を超えている。
ウ ナイジェリアは、石油製品の輸入額が、原油の輸出額の5割を超えている。
エ 南アフリカ共和国は、輸入品上位3品目の合計輸入額が、輸入総額の5割を超えている。
- (2) 徹也さんは、日本とアフリカ州の国々との関係について調べを進め、資料E～Gを作成しました。アフリカ開発会議（TICAD）を通じて、日本はアフリカ州の国々とのような関係を築こうとしているか、その変化にふれながら、資料E～Gをもとにして、簡潔に述べなさい。

資料E アフリカ開発会議（TICAD）について

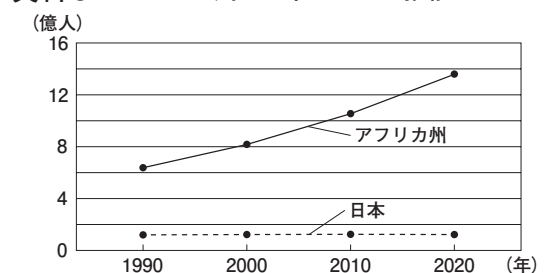
- アフリカ開発会議とは、アフリカ州の開発を目的とする国際会議である。
- 1993年以降、日本が主導し、国際連合や世界銀行、アフリカ連合委員会などと共同で開催し、アフリカ州のほぼすべての国の首相などが参加している。

年	会議のおもな成果
1993	国際社会にアフリカ州の開発への関心呼び起こした。
1998	アフリカ州各国の自助努力を積極的に支援するという「オーナーシップ」と、友好協力関係を基本とする「パートナーシップ」の理念が確立された。
2019	ビジネス促進が議論の中心となり、民間企業が公式なパートナーとして位置づけられた。
2022	日本は、アフリカ州各国の社会の安定に向けた取り組みと民間投資の促進を後押しすることを表明した。

資料F アフリカ州における日本の企業拠点数の推移



資料G アフリカ州と日本の人口の推移



(資料E～Gいずれも「外務省ホームページ」などより作成)

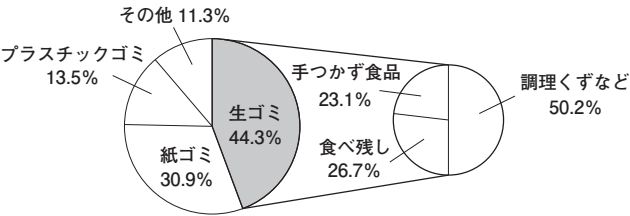
第 六 問 朝香さんは、社会科の授業で、「環境問題と私たちの生活」について調べ、資料Aを作成しました。これを読んで、あとの1～5の問いに答えなさい。

資料A 環境問題と私たちの生活

①産業の発展は、人々の生活を豊かにする一方で、大気汚染や水質汚濁などの環境問題も生み出しました。日本では、②高度経済成長期に公害問題が発生したことをきっかけに、人々の生活に影響を及ぼす環境問題に対して③さまざまな対策がとられてきました。2015年には、温室効果ガスの排出量を規制するために、気候変動枠組条約の締約国による会議で④が採択されました。持続可能な開発目標（SDGs）の達成期限である2030年が近づいている現在、私たちは⑤環境問題の解決に向けて生活のなかで取り組めることを考え、実行することが大切です。

- 1 下線部①に関して、日本の産業が発展した1890年代の社会のようすについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 新橋・横浜間をはじめとし、港と大都市を結ぶ鉄道が開通した。
- イ 第一次世界大戦で必要となった船や鉄鋼の生産により、重工業が発展した。
- ウ 日中戦争が長期化し、政府は軍事に必要な物資を優先して生産した。
- エ 産出量が増えた足尾銅山から鉱毒が川に流れ、社会問題となった。
- 2 下線部②に関して、この時期の日本の経済のようすについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 日本の経済を支配してきた財閥が解体され、経済の民主化が進んだ。
- イ 国民所得の倍増を目指す計画が出され、電化製品や自動車が各家庭に急速に普及した。
- ウ 男女雇用機会均等法が制定され、女性の社会進出や経済的自立が促進された。
- エ 石油の価格が上昇した石油危機の不況をのりこえ、諸外国への輸出が増加した。
- 3 下線部③に関して、環境問題に対する日本の政府の対策について述べた次のア～ウの文を、起こった年代の古い順に並べかえ、記号で答えなさい。
- ア 環境基本法を制定し、環境対策を強化した。 イ 環境庁を設置し、公害対策に取り組んだ。
- ウ 京都議定書の採択により、温室効果ガスの削減目標に合わせて達成計画を定めた。
- 4 ④にあてはまる、2015年に締約国が温室効果ガスの削減に向けて取り組むことを定めた取り決めを何というか、書きなさい。
- 5 下線部⑤について、朝香さんは、京都市が行っている環境問題への対策を知り、資料B～Dを作成しました。観光都市である京都市は、どのようなことに着目して、どのような取り組みを行っているか、資料B～Dをもとにして、簡潔に述べなさい。

資料B 京都市の事業ゴミ（業者収集ゴミ(焼却)）の内訳



資料C 京都市の食品ロスの2019年度の現状と2030年度までの目標

食品ロス 排出元	2019年度の 現状	2030年度までの 目標
家庭ゴミ	2.5万トン	0.5万トンの削減
事業ゴミ	3.6万トン	1.0万トンの削減

(注) 食品ロスとは食べ残しと手つかず食品をさす。また、事業ゴミとは、小売業、飲食業、宿泊業を主とする業者収集ゴミをさす。

資料D 京都市食べ残しゼロ推進店舗制度

京都市内で営業する飲食店・宿泊施設を対象として、以下の取り組みを行う店舗に左下のステッカーを交付している。京都市のホームページで推進店舗を紹介し、市民の認知度を高め、取り組みが優良である飲食店・宿泊施設を表彰している。

〔推進店舗の取り組みの例〕



- 食材を使い切る工夫
- 食べ残しを出さない工夫
- 食べ残しゼロの啓発活動

(資料B～Dいずれも「京・資源めぐるプラン-京都市循環型社会推進基本計画(2021-2030)」などより作成)

備考欄	配 点				第 一 問
	15				
	3	1	(1)	ア	
	3		(2)	イ → ウ → ア	
	3	2		エ	
	3	3		ウ	
	3	4		世界人権宣言	

備考欄	配 点				第 二 問
	17				
	3	1		イ	
	3	2		ウ	
	3		(1)	促成栽培	
	3		(2)	イ	
	5	3	(3)	(例) 町がぶどうを生産する環境を整え、新規就農者に対して手厚く支援することで、ぶどう農家数の増加や、経営規模の拡大につながるとともに、町の果実の産出額が増加した。	

備考欄	配 点				第 五 問
	17				
	3	1		ウ	
	3	2		南南問題	
	3	3		ア	
	3		(1)	イ	
	5	4	(2)	(例) 日本は他の国際機関と連携し、アフリカ州の各国の自助努力を尊重しながら友好的な関係を築き、近年、アフリカ州の人口増加による市場拡大を見込み、ビジネス促進のため、開発支援へ民間企業の参画をはかろうとしている。	

備考欄	配 点				第 三 問
	17				
	3	1		ウ → ア → イ	
	3	2		イ	
	3	3		エ	
	3	4		解体新書	
	5	5		(例) 外国人教師の指導により、先進的な知識や技術を身につけた技術者となる人材とともに、外国人教師に代わって指導に当たる人材の養成を目指した。	

備考欄	配 点				第 四 問
	17				
	3	1	(1)	議院内閣制（責任内閣制）	
	3		(2)	ウ	
	3	2		イ	
	3	3		エ	
	5	4		(例) 国や地方公共団体は公園の維持管理に必要な支出を減らすことができ、民間事業者は公園の施設等を活用して来園者を増やし、収益の拡大につなげることができる。	

備考欄	配 点				第 六 問
	17				
	3	1		エ	
	3	2		イ	
	3	3		イ → ア → ウ	
	3	4		パリ協定	
	5	5		(例) 京都市は、事業ゴミのなかで食品ロスの割合が多いことに着目し、事業ゴミの削減目標を家庭ゴミよりも高く掲げ、飲食店や宿泊施設での食品ロス削減の取り組みを推進している。	

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

1 出題のねらいと内容

数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などの知識及び事象を数学化したり、数学的に解釈、表現・処理したりする技能並びにそれらを活用して問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を総合的にみることがをねらいとした。

第一問では、数と式についての基礎的な知識と計算する力、条件を満たす点の作図の方法について見通す力及び累積相対度数を求める力をみようとした。

第二問では、条件から二次方程式を立式し処理する力、比例と反比例の二つのグラフの関係から反比例の比例定数を求める力、二つの三角錐の体積比を求める力、視点を変えながら論理的に考察し三角錐の体積を求める力及び起こり得る場合を順序よく整理し考察する力をみよう

とした。

第三問では、カセットコンロのガスの消費量やボンベに残るガスの量を素材とし、条件を整理して連立方程式を立式し処理する力、カセットコンロを使用するときの時間とボンベに残るガスの量の関係をグラフに表現する力、伴って変わる二つの数量の関係を論理的に考察し数学的に説明する力並びに数学的に処理する力をみようとした。

第四問では、三平方の定理から線分の長さを求める力、二つの三角形が相似であることを円周角の定理や円周角の性質から論理的に考察し表現する力、相似な三角形に着目して線分の長さを求める力及び合同な三角形や相似な三角形を見だし論理的に問題を解決する力をみようとした。

2 結果の考察

＜第一問＞数と式、図形、関数、データの活用
の基礎事項についての問題

条件を満たす図形の作図の方法を見通すこと、累積相対度数を理解し処理することに課題

7 条件を満たす点の作図の方法として誤っているものを選択する問題。正答率は46.8%で、図形の性質を考察せずに判断したと推察されるものが多かった。図形の作図方法を説明する活動などを通して、図形の性質や関係を論理的に考察する力を養いたい。

8 度数分布表から累積相対度数を求める問題。正答率は44.0%で、相対度数を求めたものや、累積相対度数の意味を理解せず、度数を累積度数で割ったものと推察されるものが多かった。データを収集して度数分布表に表し、そ

の相対度数や累積相対度数からデータの傾向を捉え、考察するなど、根拠を示しながら説明する活動を通して、それらの用語の意味の理解や有用性を実感できるようにしたい。

＜第二問＞4領域の基礎事項並びに数学的な見方・考え方を働かせる問題

条件を基に方程式を立式して処理すること、数量を座標と関連付けて考察すること、視点を変えて立体図形を考察することに課題

1 (2) 与えられた条件を理解し二次方程式を立式して解く問題。(1)において、具体的な整数の場合の正答率は64.0%であるのに対し、文字 x を用いて二次方程式を立式し処理する場合の正答率は26.8%であった。条件を読み取り、文字を使って立式し処理することに

つまりきがあったと推察される。数量関係を表や図にまとめながら順序立てて考察し、条件を満たす二次方程式を立式して処理する技能を身に付けさせたい。

2 (1)は、条件から比例のグラフ上の点の y 座標を求める問題。正答率は84.3%で y 座標を求めることはできている。(2)は、比例と反比例の2つのグラフの関係から、反比例の比例定数を求める問題。BDやADの長さを点Bの y 座標にそのまま対応させたと推察されるものが多かった。グラフを活用する場面では、ICT機器を用いて視覚的に捉えるなど、二つの数量関係の変化や対応の特徴を考察できるようにしたい。

3 (2) 視点を変えながら立体の体積の求め方を考察し、処理する問題。第二問の中でも、正答率は15.3%と最も低く、無答率も31.5%と最も高かった。底面とする三角形に対して、高さがどこにあたるのかを判断できなかったものや、線分の比の関係から三角錐の辺の長さを求められなかったものと推察される誤答が多くみられた。空間図形を扱う際には、模型等を活用し立体を観察したり、展開図や見取図を用いて図形の性質や関係を調べたりして、立体の構成要素を理解し、論理的に考察する力を育成したい。

<第三問>数と式、関数の融合問題

与えられた条件を正しく読み取り数学的に処理したり表現したりすることに課題

1 (2) 条件を整理して連立方程式を立式し処理する問題。ボンベ6本を使用するところをボンベ1本を使用するとして立式して求めた誤答が多くみられた。計算した結果が得られたところで終わるのでなく、計算した結果を振り返る場面を設け、結果を確認する態度を養いたい。

2 (2) (イ) グラフを用いてボンベに残るガスの量を求める問題。2つのボンベに残るガスの量が等しくなるときにグラフが交わることは捉えられていたが、そのときのガスの量が、交点の y 座標であるということを適切に表現できていなかった。また、カセットコンロAとBのボンベに残るガスの量が等しくなるときガスの量を50gや60gとしたものが多く、時間とボンベに残るガスの量の関係式を適切に表して処理できなかったと推察される。必要な情報を表や式、グラフ等にし、考察したことを説明するなど、数学的に表現できる力を育成したい。

<第四問>図形についての問題

論理的に筋道を立てて表現すること、相似や合同な三角形を多面的に捉え考察することに課題

2 二つの三角形が相似であることを論理的に考察し表現する問題。二つの三角形が相似であることの根拠となる理由が不十分である誤答が多くみられた。特に、 $\angle BCA = \angle AED$ の根拠となる理由が順序立てて導き出されていないものが多かった。授業で証明を扱う際は、根拠となる理由を説明し合ったり、確認したりして生徒同士で評価・改善する活動を取り入れ、論理的に筋道を立てて表現できる力の育成をしたい。

4 付加された条件の下で、新たな相似な三角形や合同な三角形の関係を見だし、面積を求める問題。無答率は53.0%と全問題の中で最も高かった。相似な三角形や合同な三角形に着目できず線分の長さを求めることができなかったと推察される。図形を多面的な視点で捉え、相似な三角形や合同な三角形の対応関係を見だし、筋道を立てて考察できるような力を育成していきたい。

数 学

正答率・無答率・得点率・その他

問題				正答率 →	← 無答率	得点率	調査書総点別得点率 (a:135～111点 b:110～88点 c:87～48点)
第一問	1	計算	整数の加減	93.8%	0.0%	93.8%	a: 96.5% b: 93.2% c: 87.1%
	2	計算	分数を含む除法	90.0%	0.5%	90.0%	a: 97.4% b: 95.4% c: 80.0%
	3	計算	単項式の乗法	87.8%	0.8%	87.8%	a: 97.4% b: 95.4% c: 74.2%
	4	計算	式の変形	65.3%	8.8%	66.4%	a: 91.9% b: 79.5% c: 36.6%
	5	計算	根号を含む式	82.5%	4.5%	82.7%	a: 100.0% b: 88.2% c: 65.2%
	6	式表現	二次関数	55.8%	7.3%	55.8%	a: 89.6% b: 69.2% c: 19.4%
	7	多肢選択	作図の方法	46.8%	0.5%	46.8%	a: 73.0% b: 53.9% c: 21.3%
	8	求値	累積相対度数	44.0%	1.5%	47.6%	a: 79.1% b: 47.1% c: 24.7%
第二問	1	(1)	求値 正負の四則計算	64.0%	1.3%	64.0%	a: 84.4% b: 66.2% c: 47.1%
		(2)	求値 二次方程式	26.8%	27.3%	29.7%	a: 63.0% b: 26.2% c: 8.0%
	2	(1)	求値 比例と反比例	84.3%	5.0%	85.8%	a: 100.0% b: 95.9% c: 66.7%
		(2)	求値 比例と反比例	23.8%	23.3%	23.8%	a: 48.7% b: 24.6% c: 4.5%
	3	(1)	求値 体積の比	44.0%	3.3%	44.0%	a: 80.9% b: 54.6% c: 7.7%
		(2)	求値 三角錐の体積	15.3%	31.5%	15.9%	a: 42.3% b: 9.2% c: 1.8%
	4	(1)	求値 確率	64.0%	1.8%	64.8%	a: 82.6% b: 71.5% c: 46.0%
		(2)	求値 確率	27.8%	4.5%	28.2%	a: 47.7% b: 29.9% c: 12.3%
第三問	1	(1)	式表現 文字式	77.3%	5.0%	77.7%	a: 98.3% b: 93.9% c: 48.8%
		(2)	求値 連立方程式	36.8%	11.0%	36.8%	a: 60.0% b: 36.9% c: 19.4%
	2	(1)	求値 一次関数	65.0%	4.3%	65.0%	a: 83.5% b: 70.8% c: 46.5%
		(ア)	表現 一次関数	31.3%	14.3%	40.0%	a: 71.0% b: 43.2% c: 14.2%
		(イ)	記述求値 一次関数	3.3%	31.3%	13.7%	a: 31.9% b: 11.3% c: 2.3%
第四問	1	求値	三平方の定理	61.0%	7.3%	61.0%	a: 92.2% b: 71.5% c: 29.0%
	2	記述	三角形の相似の証明	22.8%	15.3%	35.1%	a: 72.8% b: 36.4% c: 6.1%
	3	求値	三角形と比	12.5%	27.0%	12.5%	a: 38.3% b: 3.9% c: 0.7%
	4	求値	三角形の面積	3.3%	53.0%	3.3%	a: 9.6% b: 1.5% c: 0.0%
計						44.6%	a: 67.6% b: 47.6% c: 25.1%

正答率: 完全正解の割合 得点率: 配点に対する平均点の割合

令和 7 年度
公立高等学校入学者選抜学力検査問題
数 学

第 一 問 次の 1 ～ 8 の問いに答えなさい。

1 $5 - (-4)$ を計算しなさい。

2 $6 \div \left(-\frac{2}{7}\right)$ を計算しなさい。

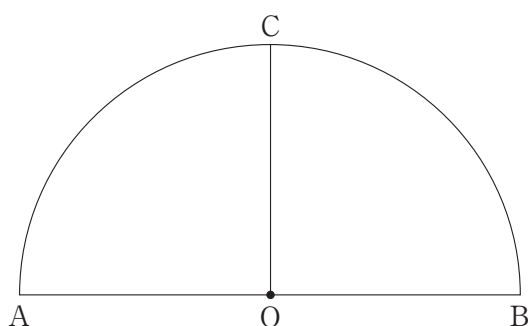
3 $(-2a)^2 \times 5b$ を計算しなさい。

4 等式 $a + 7b - 3 = 0$ を b について解きなさい。

5 $\frac{15}{\sqrt{3}} + \sqrt{27}$ を計算しなさい。

6 y は x の 2 乗に比例し、 $x = 6$ のとき $y = -9$ です。このとき、 y を x の式で表しなさい。

7 下の図のような、線分 AB を直径とする半円があり、線分 AB の中点を O とします。点 O を通って線分 AB に垂直な直線と $\widehat{AB}$ との交点を C とします。 $\widehat{BC}$ 上にあって、 $\angle POB = 45^\circ$ となる点 P を作図によって求めるとき、その作図の方法を説明したものとして、誤っているものを、あとのア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。



ア $\angle COB$ の二等分線と $\widehat{BC}$ との交点を P とする。

イ 点 A と点 C を結び、 $\angle CAB$ の二等分線と $\widehat{BC}$ との交点を P とする。

ウ 点 B と点 C を結び、線分 BC の垂直二等分線と $\widehat{BC}$ との交点を P とする。

エ 線分 OC の垂直二等分線と $\widehat{BC}$ との交点を P とする。

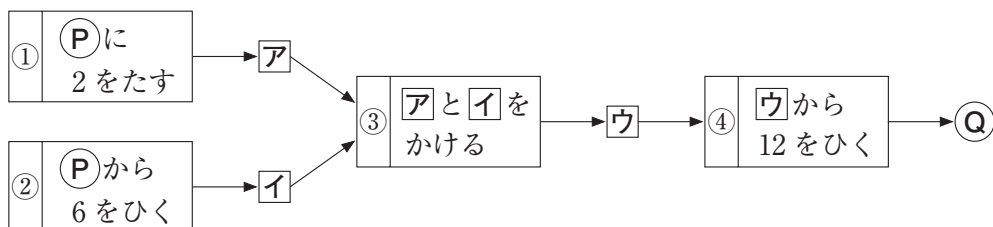
- 8 ある学年で、クロールで 25 m を泳いだときの記録をとりました。下の表は、このときの、A 組の生徒 25 人と B 組の生徒 30 人の記録を、累積度数をふくめて度数分布表に整理したものです。

A 組と B 組を比べたとき、18.0 秒以上 20.0 秒未満の階級の累積相対度数が大きい組と、その累積相対度数を答えなさい。

階級 (秒)	A 組		B 組	
	度数(人)	累積度数(人)	度数(人)	累積度数(人)
以上 未満				
14.0 ～ 16.0	4	4	3	3
16.0 ～ 18.0	5	9	6	9
18.0 ～ 20.0	7	16	9	18
20.0 ～ 22.0	6	22	10	28
22.0 ～ 24.0	3	25	2	30
合計	25		30	

第 二 問 次の 1～4 の問いに答えなさい。

- 1 下の図は、 $\textcircled{P}$ に整数を入れると、①～④の順に計算が行われ、 $\textcircled{Q}$ の値が導き出される過程を表しています。 $\boxed{ア}$ には①、 $\boxed{イ}$ には②、 $\boxed{ウ}$ には③の計算を行った結果の値がそれぞれ入ります。あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

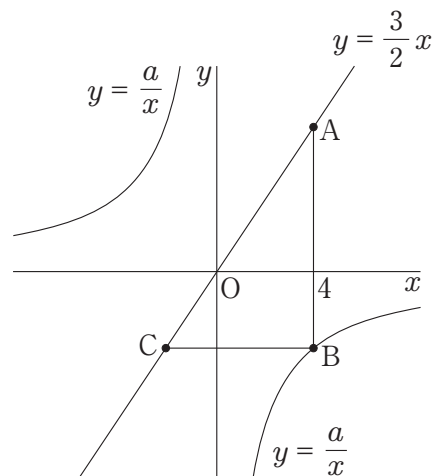


- (1) $\textcircled{P}$ に入れる整数を 1 とするとき、 $\textcircled{Q}$ の値を求めなさい。
- (2) $\textcircled{P}$ にある整数を入れると、 $\textcircled{Q}$ の値が $\textcircled{P}$ に入れた整数と同じ値になりました。 $\textcircled{P}$ に入れた整数を x とするとき、 x をすべて求めなさい。

- 2 下の図のように、比例 $y = \frac{3}{2}x$ のグラフ上と反比例 $y = \frac{a}{x}$ のグラフ上に、 x 座標が4である点A、点Bをそれぞれとり、点Aと点Bを結びます。また、比例 $y = \frac{3}{2}x$ のグラフ上に、点Bと y 座標が等しい点Cをとり、点Bと点Cを結びます。ただし、 $a < 0$ とします。

次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

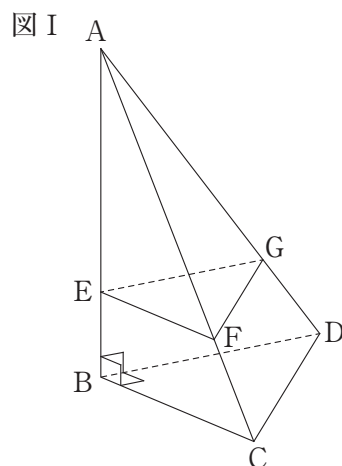
- (1) 点Aの y 座標を求めなさい。
- (2) 線分ABと x 軸との交点をDとします。AD=BCとなるとき、 a の値を求めなさい。



- 3 図Iのような、 $\angle ABC = \angle ABD = \angle DBC = 90^\circ$ である三角錐ABCDがあります。辺AB上に、点Eを $AE : EB = 3 : 1$ となるようにとります。また、辺AC、辺AD上に、それぞれ点F、点Gを面BCDと面EFGが平行となるようにとります。

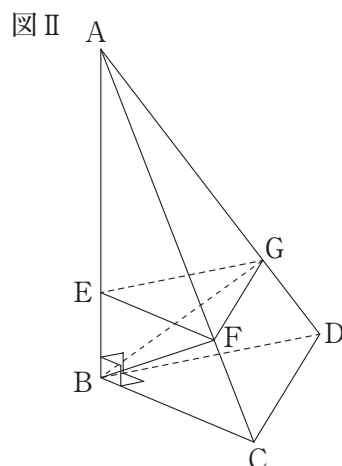
次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 三角錐ABCDと三角錐AEFGの体積の比を求めなさい。

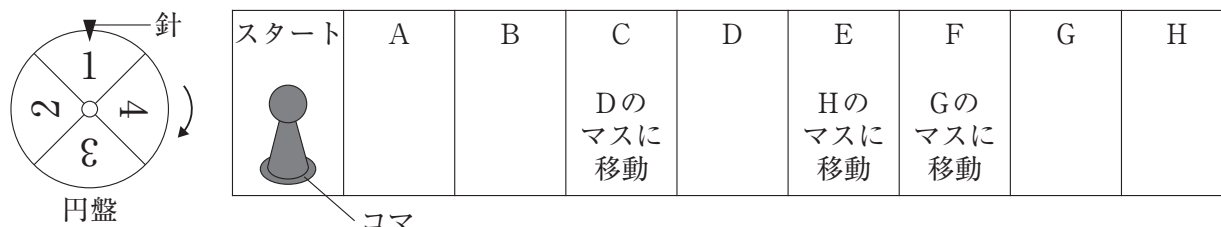


- (2) 図IIは、図Iにおいて、点Bと点F、点Bと点Gをそれぞれ結んだものです。

AB=6 cm、BC=BD=4 cm のとき、三角錐BEFGの体積を求めなさい。



- 4 下の図のような、円盤、マス目、コマがあります。円盤には、1から4までの数字が書いてあります。この円盤はまわすことができ、円盤とは別に針が固定されています。まわした円盤が静止すると、針が指す場所に書いてある数字が、必ず1つ決まります。マス目には、スタートの文字と、AからHまでのアルファベットが書いてあり、C、E、Fのマスには指示が書いてあります。



円盤を1回まわすごとに、次の にしたがってコマを移動させます。

- ・円盤をまわして決まった数字と同じ数のマスだけ、コマがあるマスからHのマスの方向に向かって、コマを移動させる。
- ・コマを移動させてC、E、Fのマスに止まったときは、それぞれそのマスに書いてある指示にしたがってコマを移動させる。

たとえば、コマをスタートのマスに置き、円盤を1回まわして決まった数字が2のとき、Bのマスにコマを移動させます。

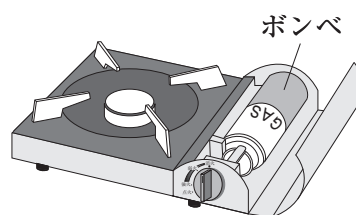
次の(1)、(2)の問いに答えなさい。ただし、円盤をまわして決まる数字は、1から4までのどの数字に決まることも同様に確からしいものとします。

- (1) コマをスタートのマスに置き、円盤を1回まわします。このとき、コマがDのマスにある確率を求めなさい。
- (2) コマをスタートのマスに置き、円盤を2回まわします。このとき、コマがHのマスにある確率を求めなさい。

第 三 問 花さんと大地さんは、図 I のような、ボンベをセットして使用するカセットコンロの、ガスの消費量やボンベに残るガスの量について調べています。

次の 1、2 の問いに答えなさい。

図 I



カセットコンロ

1 花さんは、カセットコンロのガスの消費量をウェブサイトで調べました。下の表は、カセットコンロの用途と、それぞれの用途で 1 回使用したときのガスの消費量についてまとめたものです。

この表をもとにしてガスの消費量を考えるとき、あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

用途	ガスの消費量
① 鍋に水 1 L を入れてレトルト食品を温める	50 g
② やかんで 0.5 L のお湯を沸かす	15 g

(1) 表の①の用途で a 回、②の用途で b 回使用するとき、ガスの消費量の合計を a と b を使った式で表しなさい。

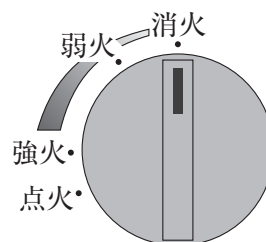
(2) 花さんの自宅には、ガスが 240 g 入ったボンベが 6 本あります。②の用途で使用する回数が①の用途で使用する回数の 2 倍となるようにして、このボンベ 6 本分のガスをすべて消費するとき、①の用途で使用できる回数は何回になりますか。

2 花さんと大地さんは、図 I と同じカセットコンロ A、B を準備しました。

これらのカセットコンロは、図 II のようなつまみをまわして火の強さを調節できます。ボンベのガスの量が 240 g のとき、「強火」の設定では 60 分間、「弱火」の設定では 180 分間使用すると、それぞれボンベのガスがすべてなくなります。

次の(1)、(2)の問いに答えなさい。ただし、火の強さを固定して使用するとき、火の強さに応じてガスは一定の割合で消費されるものとします。また、つまみをまわしているときの時間とガスの消費量は考えないものとします。

図 II



(1) ガスが 240 g 入ったボンベをセットして、カセットコンロを「強火」の設定で 20 分間使用したあとに、ボンベに残るガスの量は何 g ですか。

- (2) 花さんと大地さんは、カセットコンロを使用したときにボンベに残るガスの量を調べようと思いました。はじめに、2人はカセットコンロ A、B にガスが 240 g 入ったボンベをそれぞれセットして同時に点火しました。次の は、2人が点火したあと火の強さをそれぞれ設定し、カセットコンロを使用したようすを示したものです。

- ・花さんは、カセットコンロ A を、「弱火」と「強火」の間に設定した。途中で火の強さを変えずに使用し、点火してからちょうど 80 分後にボンベのガスがすべてなくなった。
- ・大地さんは、カセットコンロ B を、はじめに「強火」の設定で 40 分間、そのあと、「弱火」の設定に変えて使用した。使用し続けるとボンベのガスがすべてなくなった。

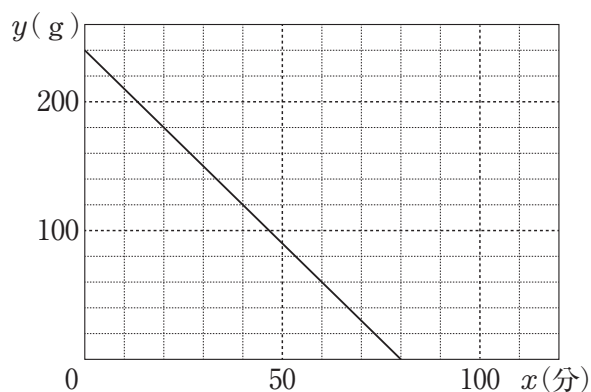
花さんと大地さんは、カセットコンロを使用したようすについて話し合いました。下の は、花さんと大地さんの会話です。

あとの(ア)、(イ)の問いに答えなさい。

- 花さん : カセットコンロ A について、点火してからボンベのガスがすべてなくなるまでのグラフをかいてみるね。カセットコンロを点火してから x 分後の、ボンベに残るガスの量を y g とすると、 x と y との関係を表すグラフは図Ⅲのようになるね。
- 大地さん : 私もカセットコンロ B について、花さんと同じようにグラフをかいてみよう。私のかいたグラフを図Ⅲにかき写してみると何かわかることはあるかな。
- 花さん : 点火してから 80 分後までの間に、点火したときとは別に、それぞれのボンベに残るガスの量が等しくなるときがあるね。
- 大地さん : ボンベに残るガスの量が等しくなるときのガスの量を表しているのは、2つのグラフの a の値だね。計算して求めてみよう。

- (ア) カセットコンロ B について、点火してからボンベのガスがすべてなくなるまでの、 x と y との関係を表すグラフを、解答用紙の図にかき入れなさい。

図Ⅲ

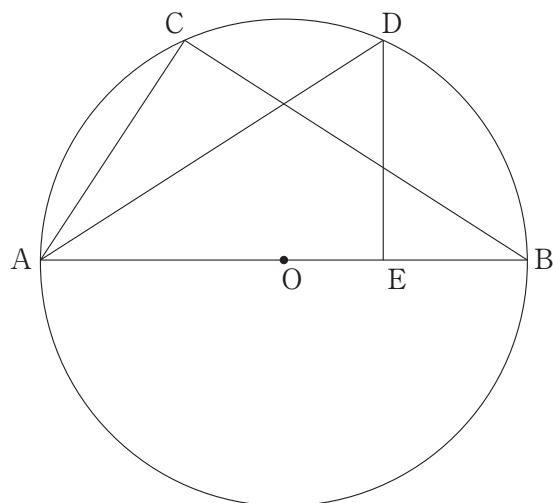


- (イ) 会話の a にあてはまる適切な言葉を書きなさい。また、点火したときとは別に、カセットコンロ A、B のそれぞれのボンベに残るガスの量が等しくなるときの、ボンベに残るガスの量を求めなさい。

第 四 問 長さが 6 cm の線分 AB を直径とする円 O があります。図 I のように、円 O の周上に、点 C を $BC = 5$ cm となるようにとり、点 A と点 C、点 B と点 C をそれぞれ結びます。また、点 A をふくまない方の $\widehat{BC}$ 上に、点 D を $\widehat{AC} = \widehat{BD}$ となるようにとり、点 A と点 D を結びます。さらに、点 D から線分 AB に垂線をひき、線分 AB との交点を E とします。

次の 1 ～ 4 の問いに答えなさい。

図 I



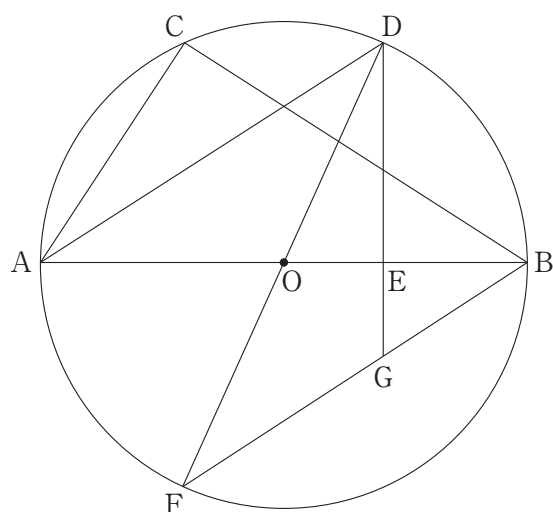
1 線分 AC の長さを求めなさい。

2 $\triangle ABC \sim \triangle DAE$ であることを証明しなさい。

3 線分 AE の長さを求めなさい。

4 図 II は、図 I において、直線 DO と円 O との交点のうち、D 以外の点を F とし、点 B と点 F を結んだものです。また、線分 DE を E の方に延長した直線と線分 BF との交点を G とします。 $\triangle DFG$ の面積を求めなさい。

図 II



備考欄	配 点	第 一 問	
	26		
	3	1	9
	3	2	-21
	3	3	$20a^2b$
	3	4	$b = -\frac{1}{7}a + \frac{3}{7}$
	3	5	$8\sqrt{3}$
	3	6	$y = -\frac{1}{4}x^2$
	4	7	工
	4	8	[18.0 秒以上 20.0 秒未満の階級の累積相対度数が 大きい組は] <u> A </u> [組で、その累積相対度数 は] <u> 0.64 </u> [である。]

備考欄	配 点	第 二 問	
	32		
	3	1	(1) -27
	5	(2)	-3, 8
	3	2	(1) 6
	5	(2)	-12
	3	3	(1) $\left[\left(\frac{\text{三角錐}}{\text{ABCD}}\right) : \left(\frac{\text{三角錐}}{\text{AEFG}}\right) = \right]$ 64 : 27
	5	(2)	$\frac{9}{4}$ [cm ³]
	3	4	(1) $\frac{1}{2}$
	5	(2)	$\frac{3}{8}$

備考欄	配 点	第 三 問	
	21		
	3	1	(1) $50a + 15b$ [g]
	4	(2)	18 [回]
	3	(1)	160 [g]
採点基準 と配点は 各学校で 定める。	5	2	(2) $y(g)$ (例) 交点の y 座標 a
採点基準 と配点は 各学校で 定める。	6	(1)	48 [g]

備考欄	配 点	第 四 問	
	21		
	4	1	$\sqrt{11}$ [cm]
採点基準 と配点は 各学校で 定める。	6	2	(例) △ABC と△DAE において 線分AB は円O の直径だから $\angle BCA = 90^\circ \cdots \text{①}$ 仮定から $\angle AED = 90^\circ \cdots \text{②}$ ①、②より $\angle BCA = \angle AED \cdots \text{③}$ 仮定から $\widehat{AC} = \widehat{BD}$ 1つの円において、等しい弧に 対する円周角は等しいから $\angle ABC = \angle DAE \cdots \text{④}$ ③、④より、2組の角がそれぞれ 等しいから $\triangle ABC \sim \triangle DAE$
	5	3	$\frac{25}{6}$ [cm]
	6	4	$\frac{7\sqrt{11}}{5}$ [cm ²]

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

1 出題のねらいと内容

自然の事物・現象についての知識及び観察、実験などに関する技能並びに科学的に探究する力を総合的にみることをねらいとした。

第一問では、光の反射、植物の特徴、金属イオン、地震を素材とし、自然の事物・現象に関する基本的な知識及び自然の事物・現象の規則性や関係性を思考、判断、表現する力をみようとした。

第二問では、炭酸水素ナトリウムを加熱して物質の変化を調べる実験を通して、物質の性質に関する知識及び実験の技能並びに溶液の性質や混合物を構成する物質の割合について思考、判断する力をみようとした。

第三問では、気象データと天気図の分析を通して、天気図記号、寒気と暖気の知識及び

寒冷前線の通過、閉そく前線における気団の関係について思考、判断、表現する力をみようとした。

第四問では、3つの力がつり合うときの2本の糸の間の角度と引く力の大きさの関係を調べる実験を通して、力のつり合いの知識及び2力の合力を作図する技能並びに力の分解の規則性、2本の糸の間の角度と力の大きさの関係について思考、判断する力をみようとした。

第五問では、水中の小さな生物の観察を通して、多細胞生物と有性生殖の知識及び顕微鏡の使い方の技能並びに生態系の中での生物の相互関係や生息数の変化について思考、判断、表現する力をみようとした。

2 結果の考察

＜第一問＞ 4領域の基礎的・基本的事項について
の問題

基本的な知識は定着しているが、知識を基に考察して表現することに課題

3 (3) 銅の金属片を硫酸亜鉛水溶液に入れたときに観察される様子を選ぶ問題。正答率は29.3%にとどまり、a層とb・c層で差が大きく、全ての層において「銅の金属片の表面に赤色の固体が付着する」を選択したものが多かった。実験結果を分析して解釈し、思考を整理して判断することに課題がみられる。探究の過程を通して、生徒が自らの考えを論理的に説明するなどの学習活動を多く取り入れたい。

4 (3) プレーートの境界に沿って地震が多く発生する理由を論述する問題。正答率は33.5%であった。地震が起こる仕組みのみを解答し、

プレートの動きによってひずみがたまりやすいことについて、ふれていないものが多かった。複数の資料から読み取れることを、習得した知識を活用して考察し、表現できるよう丁寧に指導したい。

4領域の基本的な知識に関する問題の得点率は60%を超えており、概ね定着していると考えられる。知識及び技能を活用し、科学的に探究する活動や言語活動を通して、思考、判断、表現する力の育成につなげたい。

＜第二問＞ 化学領域についての問題

実験で得られた結果を分析して解釈し、量的な関係を見いだすことに課題

1 物質を加熱する実験において、試験管の口を試験管の底よりも下げる理由を選ぶ問題。正答率は62.8%であり、概ね定着してい

るといえるが、この操作は実験を安全に行う上で基本的な操作の1つであるため、理由も含めて理解させる必要がある。

- 5 実験結果から入浴剤に含まれていた塩化ナトリウムの質量の割合を求める問題。a層の正答率は34.8%であったが、全体の正答率は11.5%にとどまった。実験で得られた結果を分析して解釈する活動の時間を十分確保し、反応する物質の量的な関係を見いだして考察できるように指導したい。

＜第三問＞地学領域についての問題

資料を読み取って考察し、科学的な根拠に基づいて表現することに課題

- 2 寒冷前線が通過した時間帯を選ぶ問題。正答率は68.5%であった。前線の通過に伴う天気や気温の変化を観測したり、気象データから気象要素の変化を読み取ったりする活動などを通して、理解を深めさせたい。
- 5 前線面をつくる気団の寒暖の違いを基に、閉そく前線の断面について論述する問題。全体の中で得点率が最も低かった。寒気どうしても寒暖の差があり、寒冷前線側の寒気の方が温暖前線側の寒気よりも暖かいことに着目できなかったものと考えられる。習得した知識や資料を基に判断し、表現することに課題がみられるといえる。暖気と寒気のかみ合いを表すモデル実験などから、性質の異なる気団がつくる前線面の特徴を視覚的に捉えて、理解させる必要がある。考察したことを科学的な根拠に基づいて表現する力の育成を図りたい。

＜第四問＞物理領域についての問題

基本的な知識を活用した実験結果の分析から規則性を見いだすことに課題

- 3 1点にはたらく力について正しく述べているものを選ぶ問題。全体の正答率は19.3%にとどまり、全ての層において「XとYを大きくすると、P点にはたらく合力の大きさは大きくなる」を選択したものが多かった。静止している物体にはたらく力がつり合っているとき、合力は0であることを理解させる必要がある。作図などを用いて実験結果を分析して解釈し、規則性を見いだす活動の充実を図りたい。

- 4 (2) 3力のつり合いの条件を基に、2本の糸が引く力から、もう1本の糸が引く力の大きさを求める問題。正答率は7.8%にとどまった。ばねばかりBが引く力を基準線に対して垂直な方向と平行な方向に分解して考えることができなかったと考えられる。向きが異なる複数の力がつり合う例を取り上げ、力の分解と関連付けて考察したことを生徒に発表させるなど、習得した知識を活用して表現する活動を多く取り入れたい。

＜第五問＞生物領域についての問題

基本的な知識及び技能は身に付いているが、思考・判断することに課題

- 1 顕微鏡の使い方について適切なものを選ぶ問題。正答率は79.3%であった。顕微鏡を操作する手順が身に付いており、観察するための技能が定着しているといえる。
- 3 有性生殖における染色体と細胞分裂の関係を選ぶ問題。正答率は41.0%にとどまり、a層とb・c層で差が大きかった。生殖細胞と受精卵の染色体の数や、体細胞分裂と減数分裂の違いについて理解ができていないといえる。モデル図やICTを活用して生命の連続性に関わる特徴を見いだしたり、探究の過程において議論したりすることで、思考、判断する力の育成につなげたい。

問題				正答率 →		← 無答率	得点率	調査書総点別得点率 (a:135～111点 b:110～88点 c:87～48点)	
第一問	1	(1)	多肢選択 物理 (光の反射)	85.3%		0.0%	85.3%	a	95.7%
		(2)	多肢選択 物理 (光の入射角)	72.5%		0.0%	72.5%	a	95.7%
		(3)	多肢選択 物理 (光の進む道筋)	64.5%		0.0%	64.5%	a	80.0%
	2	(1)	語句記述 生物 (裸子植物)	77.3%		1.3%	84.2%	a	92.2%
		(2)	多肢選択 生物 (シダ植物の特徴)	65.3%		0.0%	65.3%	a	84.4%
		(3)	多肢選択 生物 (植物の分類)	85.3%		0.3%	85.3%	a	98.3%
	3	(1)	多肢選択 化学 (電離する物質)	89.5%		0.0%	89.5%	a	97.4%
		(2)	多肢選択 化学 (亜鉛イオン)	47.0%		0.0%	47.0%	a	74.8%
		(3)	多肢選択 化学 (銅と硫酸亜鉛)	29.3%		0.0%	29.3%	a	66.1%
	4	(1)	語句記述 地学 (初期微動)	64.0%		2.0%	70.6%	a	90.1%
		(2)	多肢選択 地学 (地震の特徴)	66.5%		0.0%	73.5%	a	87.8%
		(3)	論述 地学 (プレートの境界)	33.5%		3.8%	40.8%	a	56.5%
第二問	1	多肢選択 化学 (試験管の加熱)	62.8%		0.0%	62.8%	a	88.7%	
	2	多肢選択 化学 (水の検出)	74.0%		0.0%	74.0%	a	95.7%	
	3	多肢選択 化学 (気体の発生方法)	59.3%		0.0%	59.3%	a	87.8%	
	4	多肢選択 化学 (pHの値)	65.8%		0.0%	65.8%	a	75.7%	
	5	計算 化学 (質量の割合)	11.5%		12.8%	11.5%	a	34.8%	
第三問	1	作図 地学 (天気図記号)	43.3%		3.0%	61.2%	a	79.7%	
	2	多肢選択 地学 (寒冷前線の通過)	68.5%		0.0%	68.5%	a	95.7%	
	3	多肢選択 地学 (観測した地点)	52.8%		0.0%	52.8%	a	79.1%	
	4	多肢選択 地学 (前線面の気団)	41.0%		0.3%	41.0%	a	61.7%	
	5	論述 地学 (閉塞前線の断面)	0.5%		20.5%	3.1%	a	2.8%	
第四問	1	語句記述 物理 (弾性力)	49.5%		5.3%	51.2%	a	81.7%	
	2	作図 物理 (2力の合力)	56.0%		5.0%	56.8%	a	84.6%	
	3	多肢選択 物理 (角度と分力)	19.3%		0.3%	19.3%	a	9.6%	
	4	(1) 多肢選択 物理 (角度と引く力)	21.8%		0.3%	33.7%	a	31.9%	
		(2) 計算 物理 (合力と分力)	7.8%		12.8%	7.8%	a	16.5%	
第五問	1	多肢選択 生物 (顕微鏡の使い方)	79.3%		0.3%	79.3%	a	93.0%	
	2	語句記述 生物 (多細胞生物)	86.0%		1.8%	86.3%	a	96.5%	
	3	多肢選択 生物 (有性生殖)	41.0%		0.5%	41.0%	a	67.0%	
	4	多肢選択 生物 (生態系での役割)	92.8%		0.3%	94.1%	a	99.1%	
	5	論述 生物 (食物連鎖の関係)	47.8%		4.5%	56.9%	a	72.8%	
計							55.8%	a	72.5%

令和 7 年 度
公立高等学校入学者選抜学力検査問題
理 科

第 一 問 次の 1～4 の問いに答えなさい。

- 1 健太さんは、壁に固定されている平らな鏡を使って、鏡に像がうつるようすを観察しました。次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 鏡に物体の像がうつって見えるのは、物体から出た光が鏡ではね返り、目に届くためです。このように、光が鏡ではね返る現象を何というか、最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。

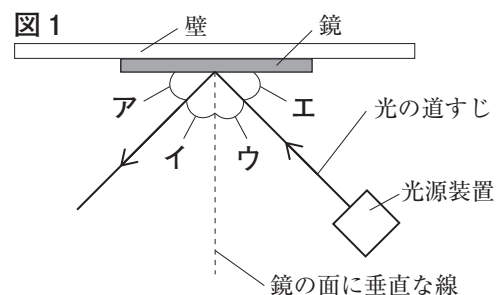
ア 光の直進

イ 光の透過

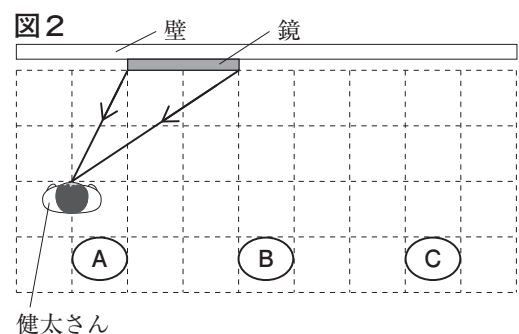
ウ 光の屈折

エ 光の反射

- (2) 図 1 は、光源装置から出た光が鏡ではね返るようすを、真上から見たものです。図 1 の矢印 (—←) は、光の道すじと向きを示しています。光源装置から出た光の入射角を、図 1 のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。



- (3) 健太さんは、自分より後ろ側の、どの位置に立っている友人の像が鏡にうつって見えるかを調べました。図 2 は、このようすを真上から見たときの、健太さんと鏡の位置、3 人の友人が立っている位置 A～C を、模式的に表したものです。健太さんには、どの位置に立っている友人の像が鏡にうつって見えるか、最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。ただし、図 2 の矢印 (—←) は、鏡の端から健太さんに届く光の道すじと向きを示しています。また、鏡は友人の像がうつる十分な高さがあるものとしします。



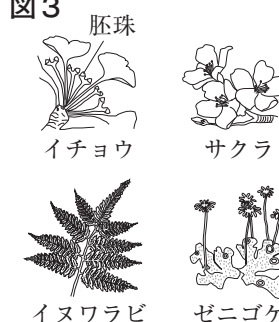
ア A と B

イ B と C

ウ A と C

エ A と B と C

2 図3は、ある学校で見られた4種類の植物を観察し、スケッチしたものです。次の(1)～(3)の問いに答えなさい。



(1) イチョウのように、胚珠がむき出しになっているつくりをもつ植物を何というか、答えなさい。

(2) イヌワラビの特徴を述べたものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 主根と側根がある。 イ 地下茎がある。
ウ 雌株と雄株がある。 エ 花に花弁がある。

(3) 図4は、観察した植物を、ある共通点をもとにして分類したものです。[a]に入る語句として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

図4

[a]をつくる イヌワラビ ゼニゴケ	[a]をつくらない イチョウ サクラ
----------------------------	----------------------------

- ア 胞子 イ 種子 ウ 果実 エ 花粉

3 金属と水溶液の反応について調べた実験について、あとの(1)～(3)の問いに答えなさい。

〔 実験 〕

① 亜鉛、マグネシウムの2種類の金属片と、硫酸亜鉛水溶液、硫酸マグネシウム水溶液、硫酸銅水溶液の3種類の水溶液を用意した。

② 紙に金属片と水溶液を入れる場所を示した表をかき、表の上にマイクロプレートを置いた。

③ 図5のように、②の表に合わせてマイクロプレートのそれぞれの穴に金属片と金属片がひたる量の水溶液を入れて、金属片の表面のようすを観察し、結果を表1にまとめた。

図5

	硫酸亜鉛水溶液	硫酸マグネシウム水溶液	硫酸銅水溶液
亜鉛			
マグネシウム			

マイクロプレート

表1

	硫酸亜鉛水溶液	硫酸マグネシウム水溶液	硫酸銅水溶液
亜鉛	変化が見られなかった	変化が見られなかった	赤色の固体が付着した
マグネシウム	① 灰色の固体が付着した	変化が見られなかった	赤色の固体が付着した

(1) 硫酸亜鉛は、水にとけて陽イオンと陰イオンに分かれる物質です。硫酸亜鉛のように、水にとけて陽イオンと陰イオンに分かれる物質を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 酸素 イ ショ糖 ウ エタノール エ 水酸化ナトリウム

(2) 表1の下線部①のように、マグネシウムの金属片と硫酸亜鉛水溶液の反応では、マグネシウムの金属片に灰色の固体が付着しました。このとき水溶液中の亜鉛イオンに起こったことを述べたものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 亜鉛イオンが電子を2個失った。 イ 亜鉛イオンが電子を2個受けとった。
ウ 亜鉛イオンが陽子を2個失った。 エ 亜鉛イオンが陽子を2個受けとった。

(3) 新たに用意した銅の金属片を、硫酸亜鉛水溶液に入れたときに観察されるようすを述べたものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 銅の金属片の表面に灰色の固体が付着する。 イ 硫酸亜鉛水溶液の色が青くなる。
ウ 銅の金属片の表面に赤色の固体が付着する。 エ 変化が見られない。

4 明日香さんは、発生した地震ごとに、ゆれの大きさやゆれが観測される範囲に違いがあることに疑問をもち、震央が神奈川県内であった地震について調べ、表2にまとめました。あとの(1)～(3)の問いに答えなさい。

表2

地震の発生日	2007年10月1日	2021年11月27日	2023年1月29日
震源の深さ	13km	13km	144km
マグニチュード	4.9	3.3	4.9
最大震度	5 強	2	3
震度の分布 震央の位置			

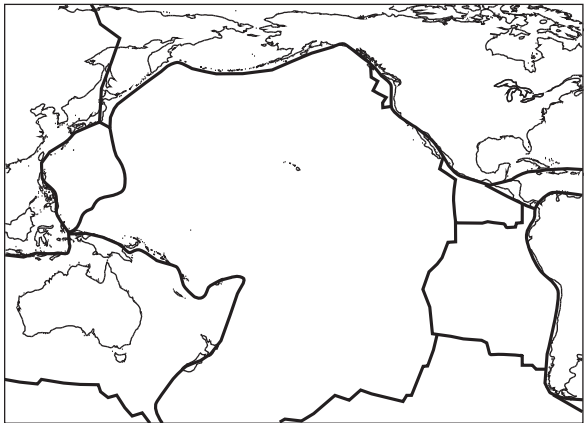
(「気象庁ホームページ」より作成)

- (1) 地震によるゆれのうち、P波が伝えるゆれを何というか、答えなさい。
- (2) 表2からわかることについて述べた次の文章の内容が正しくなるように、①のア、イ、②のウ、エからそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

震源の深さが同じ地震では、マグニチュードの値が大きい地震のほうが、ゆれが観測される範囲は① (ア 広い イ せまい)。マグニチュードの値が同じ地震では、震源が深いほうが、最大震度が② (ウ 大きい エ 小さい)。

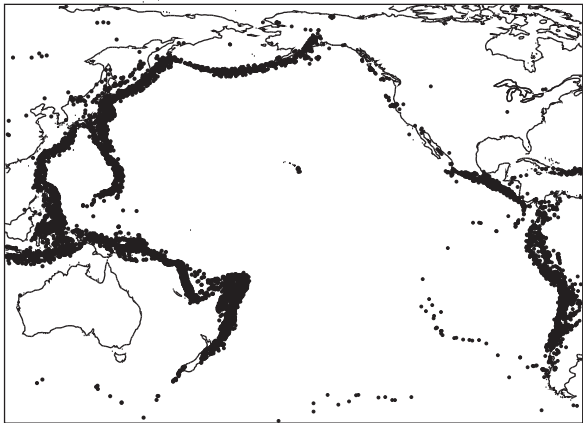
- (3) 明日香さんは、地震がプレートの境界付近で起こりやすいことを知り、調べを進める中で、図6と図7を見つけました。図6は、太平洋を囲む地域のプレートの境界を太い線(—)で表したものです。図7は、2007年から2023年の間に発生した地震の震央の位置を丸(・)で表したものです。このように、プレートの境界に沿って地震が多く発生する理由を、簡潔に述べなさい。

図6



(「アメリカ地質調査所のデータ」より作成)

図7



(注)・は、震源が13kmより深く、マグニチュードの値が4.9以上の地震の震央を表している。

(「アメリカ地質調査所のデータ」より作成)

第 二 問 炭酸水素ナトリウムと塩化ナトリウムを加熱したときの変化を調べた**実験Ⅰ**と、炭酸水素ナトリウムと塩化ナトリウムが混合された入浴剤の成分の割合を調べた**実験Ⅱ**について、あとの 1 ～ 5 の問いに答えなさい。

〔 実験Ⅰ 〕

① かわいた試験管 A ～ D を用意し、試験管 A、B には炭酸水素ナトリウムを 1 g ずつ入れ、試験管 C、D には塩化ナトリウムを 1 g ずつ入れた。

② 図のような装置で、試験管 A を十分に加熱し、試験管の中のように石灰水の変化を観察した。次に、試験管 A を試験管 C にかえ、同様の操作を行った。観察した結果を表 1 にまとめた。

③ 装置から取りはずした試験管 A、C と、試験管 B、D に、水を 5 cm³ ずつ入れ、それぞれの試験管にフェノールフタレイン溶液を加えたときの色の变化を観察し、表 2 にまとめた。

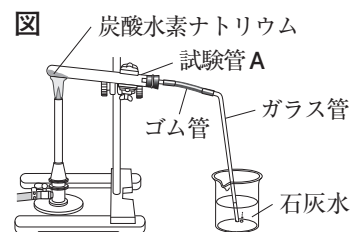


表 1	試験管の中の様子	石灰水の変化
試験管 A	試験管の口に無色の液体が見られた	白くにごった
試験管 C	変化が見られなかった	変化しなかった

表 2	試験管 A	濃い赤色になった
	試験管 B	うすい赤色になった
	試験管 C	変化しなかった
	試験管 D	変化しなかった

〔 実験Ⅱ 〕 蒸発皿 E ～ G を用意し、蒸発皿 E には炭酸水素ナトリウム 1.68 g、蒸発皿 F には塩化ナトリウム 1.68 g、蒸発皿 G には炭酸水素ナトリウムと塩化ナトリウムが混合された入浴剤 5.00 g を入れ、それぞれ十分に加熱した。加熱後の蒸発皿 E ～ G 内の物質の質量をはかり、加熱前の物質の質量とともに表 3 にまとめた。

表 3	蒸発皿 E	蒸発皿 F	蒸発皿 G
加熱前の物質の質量 [g]	1.68	1.68	5.00
加熱後の物質の質量 [g]	1.06	1.68	3.45

1 実験Ⅰの②で、図のように試験管の口を下に傾けて加熱する理由を述べたものとして、最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ア 試験管に入れた物質と空気をふれやすくして、気体を発生しやすくするため。
 イ 発生した気体が、他の物質と反応しないようにするため。
 ウ 発生した液体が、試験管の底へ流れて試験管が割れないようにするため。
 エ 石灰水が、ガラス管とゴム管を通して試験管に逆流しないようにするため。

2 実験Ⅰの表 1 で、試験管 A の口に見られた無色の液体が、水であることを確認するために用いるものとして、最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ア 青色リトマス紙 イ 塩化コバルト紙 ウ ベネジクト液 エ B T B 溶液

3 実験Ⅰの表 1 で、試験管 A を加熱したときに石灰水を白くにごらせた物質と同じ物質を発生させる方法として、最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ア 貝がらにうすい塩酸を加える。 イ 二酸化マンガンをオキシドールを加える。
 ウ スチールウールにうすい塩酸を加える。 エ アンモニア水を加熱する。

4 実験Ⅰの表 2 で、試験管 A の水溶液の pH の値を a、試験管 B の水溶液の pH の値を b、試験管 C の水溶液の pH の値を c とします。これらの pH の値の大きさの関係を不等号を用いて表したものとして、最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ア $a < b < c$ イ $c < b < a$ ウ $c < a < b$ エ $a < c < b$

5 実験Ⅱで使用した入浴剤 5.00 g に対する、入浴剤にふくまれていた塩化ナトリウムの質量の割合は何%か、求めなさい。

第三問 表は、寒冷前線が宮城県を通過した日に、宮城県内のある地点A～Cで観測された、午前3時から正午までの気象データをまとめたものです。図1は、同じ日の午前3時の日本付近の天気図の一部、図2は、同じ日の正午の日本付近の天気図の一部です。次の1～5の問いに答えなさい。

(気温[℃])						
	地点A		地点B		地点C	
時	気温	風向	気温	風向	気温	風向
3時	17.5	南	19.7	南南西	18.1	南
4時	17.5	南	18.3	南南西	18.3	南南東
5時	17.4	南南西	16.9	西南西	18.4	南
6時	17.0	南南西	15.7	北	16.9	南
7時	16.9	南	15.6	西北西	16.8	南南東
8時	17.0	南南東	16.1	北北西	17.3	南南西
9時	17.8	南	16.6	北北東	17.2	北西
10時	16.7	北北西	16.9	東北東	17.0	北北西
11時	16.6	北	17.3	南	17.5	北北西
正午	17.2	北北東	18.6	南東	18.4	北

(「気象庁ホームページ」より作成)

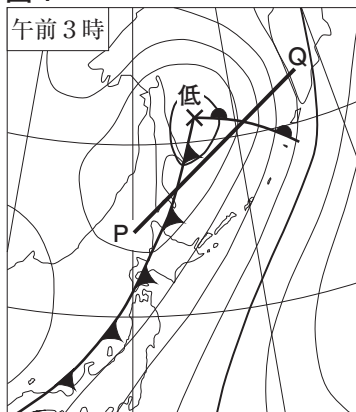
- 2 表から、寒冷前線が地点Aを通過したと考えられる時間帯として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 午前5時から午前6時の間
イ 午前7時から午前8時の間
ウ 午前9時から午前10時の間
エ 午前11時から正午の間

- 3 図3に示すx～zは、表の気象データを観測した地点A～Cのいずれかを表しています。図3のx～zに対応する地点の組み合わせとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

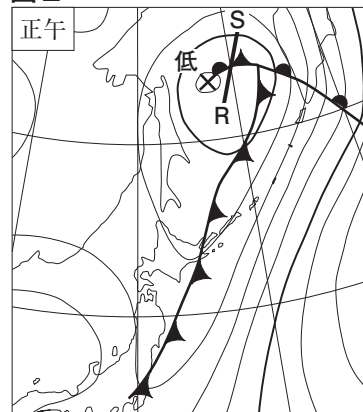
- ア x - 地点B y - 地点A z - 地点C
イ x - 地点C y - 地点A z - 地点B
ウ x - 地点A y - 地点C z - 地点B
エ x - 地点B y - 地点C z - 地点A

図1



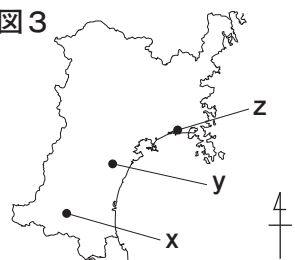
(「気象庁ホームページ」より作成)

図2



(「気象庁ホームページ」より作成)

図3

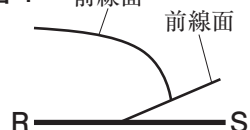


- 4 図1の天気図中に示した線P-Qに沿った断面での、前線面付近の気団の動きを矢印(⇒)で模式的に表したものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア イ ウ エ

- 5 図2の天気図では、寒冷前線が温暖前線に追いついて閉そく前線ができています。図4は、図2に示した線R-Sに沿った断面を模式的に表したものです。図4のような断面となる理由を、前線面をつくる気団の寒暖の違いにふれながら、簡潔に述べなさい。

図4



第 四 問 力のつり合いを調べた実験について、あとの 1～4 の問いに答えなさい。ただし、板とばねばかりの間にはたらく摩擦、糸の重さやのびは考えないものとします。また、ばねばかりは水平に置いたときに 0 N を示すように調整してあります。

〔 実験 〕

- 1

水平に置いた板に基準線を引いた。P 点で糸 a～c を結び、ばねばかり A に糸 a、ばねばかり B に糸 b、ばねばかり C に糸 c を取り付け、ばねばかり A～C を水平になるように板の上に置いて、装置を組み立てた。

2

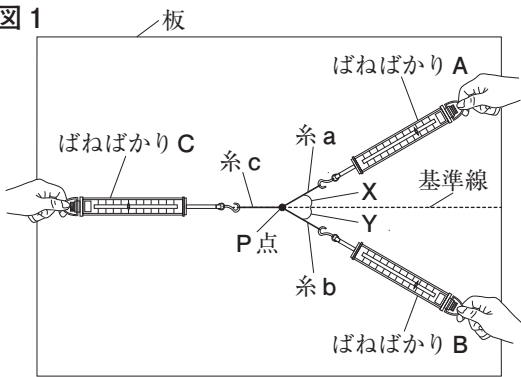
図 1 のように、糸 c を基準線に重ね、糸 a と基準線のなす角の大きさを X、糸 b と基準線のなす角の大きさを Y とし、X と Y がそれぞれ 30°、ばねばかり C が示す値が 10 N になるように、ばねばかり A～C を水平に引いて静止させた。このとき、ばねばかり A、B が示す値をそれぞれ記録した。

3

X と Y をともに 10° ずつ、40° から 70° まで変化させた。X と Y を変化させるたびに 2 と同様の操作を行った。

4

2、3 の結果を、表にまとめた。



表

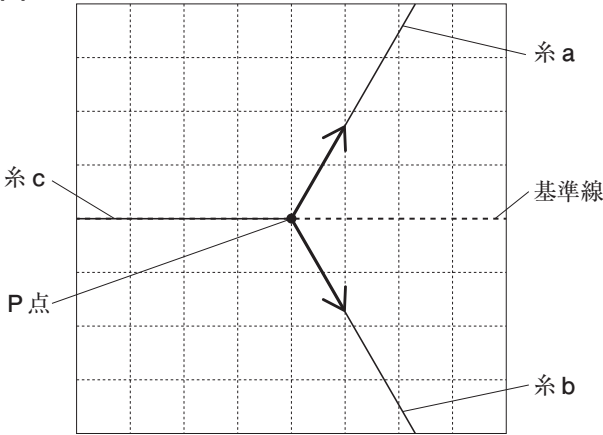
X、Y	30°	40°	50°	60°	70°
ばねばかり A の値 [N]	5.8	6.5	7.8	10.0	14.6
ばねばかり B の値 [N]	5.8	6.5	7.8	10.0	14.6

- 1

ばねばかりに使われているばねには、のばすともとの長さにもどろうとする力が生じます。このように、力によって変形した物体がもとにもどろうとして生じる力を何というか、答えなさい。
- 2

図 2 は、3 で X と Y がそれぞれ 60° のときに、糸 a、b が P 点に加える力をそれぞれ力の矢印で表したものです。2 力の合力を、解答用紙の図に力の矢印で表しなさい。ただし、解答用紙の図の 1 目盛りは 5 N の力の大きさを表すものとします。

図 2



3 実験で、P点にはたらく力について述べたものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア XとYにかかわらず、P点にはたらく力の合力は10Nである。

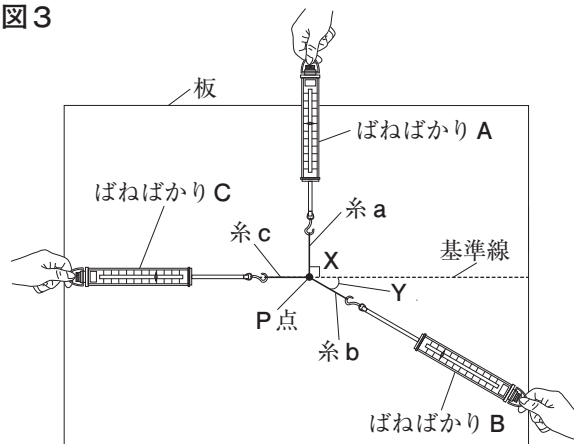
イ XとYを大きくすると、P点にはたらく合力の大きさは大きくなる。

ウ XとYを大きくすると、糸aがP点に加える力の基準線に平行な分力の大きさは小さくなる。

エ XとYを大きくしても、糸bがP点に加える力の基準線に平行な分力の大きさは一定である。

4 図3のように、1の装置を用いて、糸cを基準線に重ね、Xが 90° 、Yが 30° 、ばねばかりAが示す値が10Nになるように、ばねばかりA～Cを水平に引いて静止させました。次に、糸cを基準線に重ねたまま、ばねばかりAが示す値とXを変えないように、Yを 30° から 90° になるまでゆっくりと変化させました。あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

図3



(1) Yを 30° から 90° になるまで変化させたときの、ばねばかりB、Cが示す値について述べた次の文の内容が正しくなるように、①のア、イ、②のウ、エからそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

ばねばかりBが示す値は① (ア 大きく イ 小さく) なり、Yが 90° になったところで、ばねばかりCが示す値は② (ウ 0N エ 10N) になる。

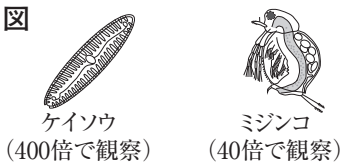
(2) ばねばかりBが示す値が12.5Nのとき、ばねばかりCが示す値は何Nになるか、求めなさい。

第 五 問 信二さんは、水中の小さな生物について観察を行いました。観察されたようすについて調べを進め、まとめを作成しました。あとの 1～5 の問いに答えなさい。

〔 観 察 〕

- ① 近くの川でれきや砂を採集した。採集したれきや砂を水槽の底に入れ、くみ置きしておいた水道水を入れた。
- ② 水槽の水をとり、顕微鏡で観察したところ、図のようなケイソウ、ミジンコなどの小さな生物が見られた。ミジンコの体内には、中の色が緑色に見える器官があった。
- ③ 水槽を明るい場所に置き、1週間水槽内のようすを観察し、観察されたようすを表にまとめた。

図



表

	観察されたようす
2日目	水が緑色ににごった
3日目	水が緑色ににごったままだった
4日目	水の緑色のにごりがなくなった
5日目	ミジンコが多く見られるようになった
6日目	水槽の底に白っぽい小さな粒が見られた
7日目	ミジンコが6日目より少なくなった

〔 ま と め 〕

- ・水槽の水が緑色ににごったのは、ケイソウなどの植物プランクトンが増加したことによるものであることがわかった。
- ・水槽の底に見られた白っぽい小さな粒は、ミジンコが有性生殖を行い、産んだ受精卵であることがわかった。
- ・ミジンコの体内で緑色に見えた器官は腸であり、ミジンコがケイソウなどの植物プランクトンを食べたため緑色をしていたことがわかった。

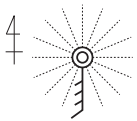
- 1 顕微鏡の使い方として、最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。
- ア ピントを合わせる前に、対物レンズを最も高倍率のものにする。
- イ ピントを合わせる前に、接眼レンズをのぞきながら、プレパラートに対物レンズを近づける。
- ウ 接眼レンズをのぞきながら、プレパラートから対物レンズを遠ざけてピントを合わせる。
- エ 視野が暗いとき、明るくするには、接眼レンズを高倍率のものにかえる。
- 2 ミジンコのように、器官をもち、複数の細胞からなる生物を何というか、答えなさい。
- 3 下線部に関することを述べたものとして、最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。
- ア 生殖細胞の染色体の数は受精卵の半分である。 イ 精子は体細胞分裂によってつくられる。
- ウ 受精卵は減数分裂によって細胞の数をふやす。 エ 精子の染色体の数は受精卵と同じである。
- 4 信二さんが作成したまとめから、ケイソウとミジンコの生態系における役割について述べた次の文章の内容が正しくなるように、①のア、イ、②のウ、エからそれぞれ 1 つ選び、記号で答えなさい。

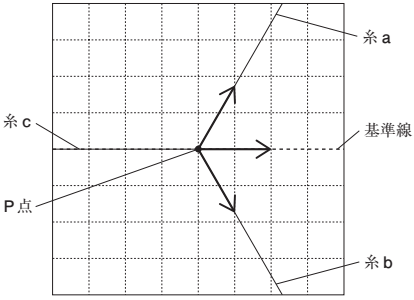
ケイソウは光合成で有機物をつくる①（ア 分解者 イ 生産者）である。また、ミジンコはケイソウを食べて有機物を得る②（ウ 生産者 エ 消費者）である。

- 5 ある湖において、植物プランクトンが大量に発生して水がにごったため、生態系を考慮した上で、ミジンコを食べる魚 A を減らすことを目的に、魚 A を食べる魚 B を湖に放流したところ、湖の透明度が高くなりました。湖に魚 B を放流してから湖の透明度が高くなるまでの間に、魚 A、ミジンコ、植物プランクトンの数量がどのように変化したかを、食物連鎖の関係をもとにして、簡潔に述べなさい。

備考欄	配 点	第 一 問	
	36		
	3	(1)	エ
	3	1 (2)	ウ
	3	(3)	イ
	3	(1)	裸子植物
	3	2 (2)	イ
	3	(3)	ア
	3	(1)	エ
	3	3 (2)	イ
	3	(3)	エ
	3	(1)	初期微動
	3	4 (2)	①(ア) ②(エ)
	3	(3)	(例) プレーットの境界では、プレーットの動きによってひずみがたまりやすいため。

備考欄	配 点	第 二 問	
	16		
	3	1	ウ
	3	2	イ
	3	3	ア
	3	4	イ
	4	5	16 [%]

備考欄	配 点	第 三 問	
	16		
	3	1	
	3	2	ウ
	3	3	エ
	3	4	ア
	4	5	(例) 寒冷前線側の寒気は、温暖前線側の寒気よりもあたたかいので、温暖前線の前線面上へはい上がって進むため。

備考欄	配 点	第 四 問	
	16		
「弾性の力」も正答とする。	3	1	弾性力
	3	2	
	3	3	エ
	3	4 (1)	①(イ) ②(ウ)
	4	(2)	7.5 [N]

備考欄	配 点	第 五 問	
	16		
	3	1	ウ
	3	2	多細胞生物
	3	3	ア
	3	4	①(イ) ②(エ)
	4	5	(例) 魚Bを放流したことにより、ミジンコを食べる魚Aが減り、植物プランクトンを食べるミジンコの数が増え、植物プランクトンの数が減った。

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

1 出題のねらいと内容

英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識及びこれらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用する技能並びに情報や考えを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりするために必要な思考力、判断力、表現力等を総合的にみることをねらいとした。

第一問では、絵を見ながら英語を聞いて内容を理解する力、会話の流れに沿って適切に応答する力、会話を聞いて内容を理解し質問に適切に応答する力及び短い英語を聞いて場面を捉え質問に対して即興で適切に応答する力をみようとした。

第二問では、短い会話を通して、基本的な文法・語法に関する知識と語彙力、基本的な英文を構成する力及びイベントについて英語

で書かれたチラシから必要な情報を読み取る力をみようとした。

第三問では、高校生が新しい習慣を身に付けた経験から学んだことについて話した英文を素材とし、英文の内容を正確に読み取り、概要を的確に捉える力をみようとした。

第四問では、4人の高校生が学習における情報機器の使用について意見を述べた英文を素材とし、必要な情報や概要、要点を的確に捉えながら、話し手が伝えようとする内容を読み取る力をみようとした。

第五問では、英語部が作成した、学校図書館を表すシンボルマークについて意見を募集する掲示物の英文を素材とし、自分の考えやその理由を相手に伝えるように英語で適切に表現する力をみようとした。

2 結果の考察

<第一問>「聞くこと」に関する問題

発話を聞き、話し手の意図を的確に把握すること、適切に応答することに課題

問題3 3番 まとまった量の会話を聞いて話し手の意図を正確に捉えることができるかをみる問題。c層では、正答率が43.2%にとどまり、誤答の63.6%が別の話し手の発言内容が含まれている選択肢を選んでいった。発言内容を話し手ごとに整理して聞く指導を行うとともに、話し手が伝えようとしていることを平易な英語を使って表現する活動などを通して、話し手の意図を把握する力を伸ばしたい。

問題4 助言を求める質問に対して即興で適切に応答することができるかをみる問題。得点率は35.8%にとどまり、canやshouldなど助

言をするときに用いる表現が適切に使われていないものが多かった。言語活動時の中間指導において、目的や場面、状況に合わせてどのような表現を使うとよいのか振り返る機会を設けるなどして、生徒の気づきを促したい。

<第二問> コミュニケーションを支える文法・語法及び「読むこと」に関する問題

資料から情報を読み取ることはできるが、基本的な文法に関する知識の定着に課題

2 (2) 間接疑問に関する問題。 正答率は19.5%にとどまった。誤答の61.5%がknow what time is itとしており、間接疑問文の語順に関する知識が十分定着していないことがうかがえる。基本的な文法事項については、明示

的な指導を織り交ぜながら、コミュニケーションの中で何度も使用することを通して定着を図りたい。

- 3 (1) 資料から必要な情報を読み取ることができるかをみる問題。全体の正答率は90%を超え、c層の得点率も78.7%と高かった。簡単な語句で書かれた資料から必要な情報を把握することはできているといえる。

＜第三問＞「読むこと（日常的な話題）」に関する問題

文章全体の流れを捉えることに課題

- 4 スピーチの流れを正確に把握することができるかをみる問題。正答率は25.8%にとどまった。a層ではスピーチ終盤の流れを正しく捉えられていない誤答が多く、b・c層では前半から流れを把握できていないものが多かった。まとまりのある文章を最初から最後まで通して読む機会を多く設定するとともに、文章の流れに沿って場面を整理し、その内容を絵や簡単な英語を使って伝え合う活動を行うなど、授業展開の工夫が望まれる。
- 5 スピーチの話し手が伝えたいことを正しく読み取ることができるかをみる問題。昨年度の同問題と比べ、a層の得点率が著しく上昇した。一方、b・c層の得点率は25%以下にとどまり、具体的な出来事の読み取りに終始し、話し手が伝えたい内容を一般化して捉えられていないものが多かった。スピーチの英文の出来事を整理した後で、話し手が伝えたいことを簡単な英語でまとめる活動などを通して、英文の概要を捉えられるよう指導したい。

＜第四問＞「読むこと（社会的な話題）」に関する問題

文章の構成を踏まえて要点を的確に把握することに課題

- 2 ある事柄に対する理由を正確に読み取ることができるかをみる問題。接続詞soを手がかりに、理由を述べている部分を把握する必要があった。c層の誤答では、情報の所在を誤って捉えているものが多く、a・b層の誤答では、情報の所在は把握しているものの、those videosの具体的な内容についての説明が不足しているものが多かった。接続詞など話の流れを表す語句に注目しながら論理関係を把握する活動を充実させるとともに、指示語が表す内容を英語で確認しながら英文全体の内容把握につなげる指導の工夫が望まれる。
- 5 英文の要点を的確に捉えることができるかをみる問題。(1)～(4)全てで正答率が50%に届かず、特に(4)は25.0%と最も低かった。英文のどこに注目すべきか判断できなかったものと推察される。主題文と支持文の関係など、文章の構成に関する学習を積み重ねながら、書き手が最も伝えたいことが何かを捉える活動を通して、要点を的確に把握する力を伸ばしたい。

＜第五問＞「書くこと」に関する問題

自分の考えとその理由が伝わるように正確に英文を書くことに課題

社会的な話題について、自分の考えやその理由を3文以上の英語で適切に表現することができるかをみる問題。無答率は過去5年で最も低く、意欲的に解答しようとする姿勢がうかがえた。一方、得点率は33.3%にとどまり、b・c層では、動詞の欠如など、文構造の不成立による誤りが目立った。自分の考えやその理由を書いて伝える活動の中間指導において、生徒が書いた英文に共通してみられる文法上の誤りを取り上げて全体で共有するなど、生徒の気づきを促しながら英文の正確性を高めていく指導の充実を図っていきたい。

問題				正答率 →		← 無答率	得点率	調査書総点別得点率 (a:135～111点 b:110～88点 c:87～48点)	
第一問	問題1	1番	多肢選択	リスニング 内容把握	94.0%0.0%		94.0%	a	99.1%
		2番	多肢選択	リスニング 内容把握	85.8%0.0%		85.8%	b	96.2%
	問題2	1番	多肢選択	リスニング 内容把握	71.8%0.0%		71.8%	c	88.4%
		2番	多肢選択	リスニング 内容把握	88.7%			a	99.1%
	問題3	1番	多肢選択	リスニング 内容把握	71.8%0.0%		71.8%	b	90.8%
		2番	多肢選択	リスニング 内容把握	74.5%0.0%		74.5%	c	71.6%
		3番	多肢選択	リスニング 内容把握	94.8%			a	99.1%
第二問	問題4	1番	多肢選択	リスニング 内容把握	89.8%0.0%		89.8%	b	88.7%
		2番	多肢選択	リスニング 内容把握	74.5%0.0%		74.5%	c	54.2%
		3番	多肢選択	リスニング 内容把握	51.6%			a	94.8%
	問題5	1番	多肢選択	リスニング 内容把握	89.8%0.0%		89.8%	b	100.0%
		2番	多肢選択	リスニング 内容把握	64.3%0.0%		64.3%	c	98.5%
		3番	多肢選択	リスニング 内容把握	70.5%0.0%		70.5%	a	88.7%
		4番	英文記述	リスニング 応答文	21.3%	21.5%	35.8%	b	74.8%
第三問	1	(1)	多肢選択	文法	88.0%0.0%		88.0%	c	73.9%
		(2)	多肢選択	文法	78.8%0.0%		78.8%	a	7.7%
		(3)	多肢選択	文法	70.3%0.3%		70.3%	b	35.4%
	2	(1)	語順整序	文法	82.8%0.3%		82.8%	c	80.0%
		(2)	語順整序	文法	19.5%	0.3%	19.5%	a	43.2%
	3	(1)	多肢選択	情報検索	90.8%0.3%		90.8%	b	78.0%
		(2)	多肢選択	情報検索	70.0%0.8%		70.0%	c	96.5%
	第四問	1	多肢選択	内容理解	70.8%0.5%		70.8%	a	100.0%
		2	和文論述	内容理解	50.5%22.0%		59.7%	b	97.4%
		3	英文記述	内容理解	15.5%	17.8%	31.6%	c	47.1%
4		英文整序	本文の 要旨	25.8%1.3%		25.8%	a	92.4%	
5		語記述	本文の 要旨	31.8%28.5%		33.1%	b	66.9%	
第五問	1	多肢選択	内容理解	71.0%0.0%		71.0%	c	29.4%	
		2	和文論述	内容理解	11.5%	15.8%	34.6%	a	97.4%
	3	(1)	英文記述	内容理解	39.0%18.8%		50.1%	b	68.5%
		(2)	英文記述	内容理解	10.0%	20.8%	29.1%	c	5.2%
	4	英文記述	内容理解	11.3%45.3%		15.3%	a	40.0%	
	5	(1)	多肢選択	本文の 要旨	32.8%1.0%		32.8%	b	18.5%
		(2)	多肢選択	本文の 要旨	45.3%1.3%		45.3%	c	26.9%
		(3)	多肢選択	本文の 要旨	39.8%1.8%		39.8%	a	50.4%
		(4)	多肢選択	本文の 要旨	25.0%2.0%		25.0%	b	26.9%
	第五問		英文記述	英作文	2.5%	16.8%	33.3%	c	4.4%
計						52.4%	a	80.9%	

正答率: 完全正解の割合 得点率: 配点に対する平均点の割合

令和 7 年度
公立高等学校入学者選抜学力検査問題
英 語

第 一 問 （放送によるテスト） 次の問題 1 から問題 4 に答えなさい。

問題 1 英語を聞いて、その内容を最も適切に表しているものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から 1 つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。

	ア	イ	ウ	エ																								
1 番	今週末の天気予報 <table border="1" style="margin: auto; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 5px;">土</td> <td style="padding: 5px;">日</td> </tr> <tr> <td style="padding: 10px;"></td> <td style="padding: 10px;"></td> </tr> </table>	土	日			今週末の天気予報 <table border="1" style="margin: auto; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 5px;">土</td> <td style="padding: 5px;">日</td> </tr> <tr> <td style="padding: 10px;"></td> <td style="padding: 10px;"></td> </tr> </table>	土	日			今週末の天気予報 <table border="1" style="margin: auto; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 5px;">土</td> <td style="padding: 5px;">日</td> </tr> <tr> <td style="padding: 10px;"></td> <td style="padding: 10px;"></td> </tr> </table>	土	日			今週末の天気予報 <table border="1" style="margin: auto; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 5px;">土</td> <td style="padding: 5px;">日</td> </tr> <tr> <td style="padding: 10px;"></td> <td style="padding: 10px;"></td> </tr> </table>	土	日										
土	日																											
																												
土	日																											
																												
土	日																											
																												
土	日																											
																												
2 番	<table border="1" style="margin: auto; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 10px;"></td> <td style="padding: 10px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 10px;"></td> <td style="padding: 10px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 10px;"></td> <td style="padding: 10px;">↑ </td> </tr> </table>						↑ 	<table border="1" style="margin: auto; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 10px;"></td> <td style="padding: 10px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 10px;"></td> <td style="padding: 10px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 10px;"></td> <td style="padding: 10px;">↑ </td> </tr> </table>						↑ 	<table border="1" style="margin: auto; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 10px;"></td> <td style="padding: 10px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 10px;"></td> <td style="padding: 10px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 10px;">↑ </td> <td style="padding: 10px;"></td> </tr> </table>					↑ 		<table border="1" style="margin: auto; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 10px;"></td> <td style="padding: 10px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 10px;"></td> <td style="padding: 10px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 10px;">↑ </td> <td style="padding: 10px;"></td> </tr> </table>					↑ 	
																												
	↑ 																											
																												
	↑ 																											
																												
↑ 																												
																												
↑ 																												

第一問（放送によるテスト）は、次のページにつづきます。

問題2 咲 (Saki) とジョン (John) が会話をします。二人の会話は、問題用紙に示されている順に進みます。 に入る発言として最も適切なものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、その記号を**解答用紙**に書きなさい。会話の のところでは、チャイム音が鳴ります。

1番 Saki:
 John:
 Saki:
 John: (チャイム音)

- ア By bus.
- イ Some T-shirts.
- ウ At 2 p.m.
- エ Near the station.

2番 John:
 Saki:
 John:
 Saki: (チャイム音)

- ア Yes, here's your bike.
- イ No, my mother is not here.
- ウ Of course, I'll help you.
- エ Thank you, but I'm OK.

問題3 佐藤先生 (Ms. Sato) と留学生のケビン (Kevin) が会話をします。そのあとで会話について3つの質問をします。それらの質問に対する答えとして最も適切なものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、その記号を**解答用紙**に書きなさい。

1番 ア He feels it's exciting.
 イ He feels it's helpful.
 ウ He feels it's short.
 エ He feels it's tough.

2番 ア They can meet some popular actors.
 イ They can play music with some local bands.
 ウ They can draw anime characters in a building.
 エ They can see many things made of snow.

3番 ア He should talk about the festival to his family later.
 イ He should take some pictures at the festival.
 ウ He should go to the festival in warm clothes.
 エ He should join the festival next year again.

問題4 来月、アメリカに帰国する予定の留学生のルーシー (Lucy) があなたに話しかけます。ルーシーの質問に対するあなたの答えを、**英語**で**解答用紙**に書きなさい。

第一問 (放送によるテスト) は、ここまでです。

第 二 問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(3)の二人の会話が成立するように、() に入る最も適切なものを、それぞれあとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

(1) *Customer:* This bag is so cute. How () is it?
Clerk: It's 3,000 yen.
ア many イ much ウ long エ old

(2) *James:* Where is Fumiya? I can't find him.
Masaki: I think he is () soccer outside.
ア play イ plays ウ played エ playing

(3) *Child:* Dad, look. My clock doesn't () .
Father: Oh, maybe you should change the battery.
ア work イ live ウ see エ stay

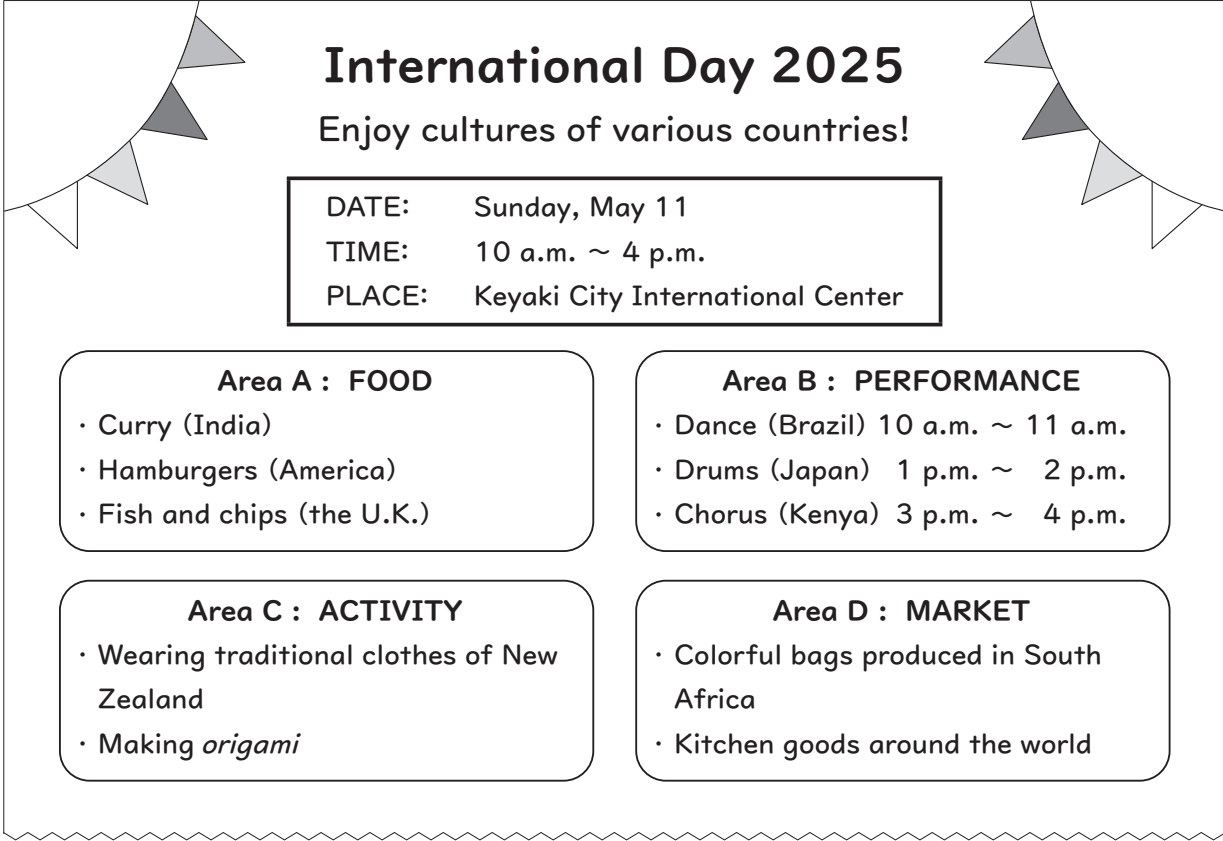
2 次の(1)、(2)の二人の会話が成立するように、() 内の語句を正しい順に並べかえ、(1)はア～エ、(2)はア～オの記号で答えなさい。ただし、文頭にくる語も小文字で示しています。

(1) *Mr. Ono:* (ア must イ run ウ not エ you) in the classroom, Adam. It's dangerous.
Adam: I'm sorry, Mr. Ono. I'll be careful.

(2) *Michiko:* Do you (ア it イ what ウ know エ is オ time) in London now? I want to call my aunt there.
Linda: Well, I think it's about 7 a.m.

- 3 次のチラシは、けやき市 (Keyaki City) が開催するイベントについてのものです。これを読んで、あとの(1)、(2)の () に入る最も適切なものを、それぞれア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

[チラシの一部]

A poster for 'International Day 2025' with a decorative border of triangular flags. The main title is 'International Day 2025' followed by 'Enjoy cultures of various countries!'. Below this, a box contains the event details: DATE: Sunday, May 11; TIME: 10 a.m. ~ 4 p.m.; PLACE: Keyaki City International Center. The poster is divided into four areas: Area A (FOOD) with Curry (India), Hamburgers (America), and Fish and chips (the U.K.); Area B (PERFORMANCE) with Dance (Brazil) 10 a.m. ~ 11 a.m., Drums (Japan) 1 p.m. ~ 2 p.m., and Chorus (Kenya) 3 p.m. ~ 4 p.m.; Area C (ACTIVITY) with Wearing traditional clothes of New Zealand and Making origami; and Area D (MARKET) with Colorful bags produced in South Africa and Kitchen goods around the world.

International Day 2025
Enjoy cultures of various countries!

DATE: Sunday, May 11
TIME: 10 a.m. ~ 4 p.m.
PLACE: Keyaki City International Center

Area A : FOOD

- Curry (India)
- Hamburgers (America)
- Fish and chips (the U.K.)

Area B : PERFORMANCE

- Dance (Brazil) 10 a.m. ~ 11 a.m.
- Drums (Japan) 1 p.m. ~ 2 p.m.
- Chorus (Kenya) 3 p.m. ~ 4 p.m.

Area C : ACTIVITY

- Wearing traditional clothes of New Zealand
- Making *origami*

Area D : MARKET

- Colorful bags produced in South Africa
- Kitchen goods around the world

- (1) If you want to get something to eat, you should go to () .
ア Area A イ Area B ウ Area C エ Area D
- (2) At the event, you can () .
ア watch dance performance in the afternoon
イ try Brazil's national food
ウ buy bags made in South Africa
エ borrow Japanese traditional clothes

第 三 問 次の英文は、高校生の拓真 (Takuma) が、英語の授業でスピーチをしたときのものです。
この英文を読んで、あとの1～5の問いに答えなさい。

Today, I'll talk about how I changed my daily life. Before, I often got up late in the morning. I went to school after having a small breakfast, and I was sometimes sleepy at school.

One day in July, I found that my friend, Satoshi, was always *energetic at school. I asked him, “Satoshi, you look great every day. Do you do anything special?” He said, “I get up at five and study before breakfast. After spending the morning time for studying, I feel great all day.” I was surprised. Every day, he used ① it effectively and had a good start for the day!

I wanted to do something to have a better daily life, too, and I got an idea. Every October, our school has a *marathon race. Last year, I sometimes walked during the race. This time, I wanted to run through it. I said to my parents, “I’ll get up early and go jogging every morning.” They were surprised to hear ② my decision, but after I talked about the reason, my father smiled. He said, “Takuma, your *challenge may be tough, but you’ll get a good *habit if you continue doing it.”

I started jogging the next morning. At first, I was often sleepy, and didn’t want to get out of bed. “I can’t keep doing this,” I thought many times. But my parents supported my challenge by encouraging me before my jogging every day. “I won’t *give up,” I said to myself and continued jogging. A month later, I started to feel that getting up early was not so difficult. I ate more for breakfast every day. At school, I felt more energetic than before.

Two months went by and the day of the marathon race came. It was hard, but I finished it without walking! Now, I still run every morning. I’m *proud that I’ve been doing it for a long time. I realized that if we continue to do something, we can create a habit that gives us brighter days. Now, how about taking action for your better daily life?

<注> *energetic 活気に満ちた *marathon race マラソン大会 *challenge 挑戦
*habit 習慣 *give up あきらめる *proud that～ ～ということを誇りに思っ

1 下線部①が示す内容として最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- | | |
|--------------------|----------------|
| ア school | イ breakfast |
| ウ the morning time | エ a good start |

2 下線部②が示す具体的な内容を、本文中から探して日本語で書きなさい。

3 次の質問に対する答えを、本文の内容に合うように英語で書きなさい。

What did Takuma’s parents do to support his challenge?

4 次のア～オを拓真のスピーチの流れに合うように並べかえ、記号で答えなさい。

- ア Takuma’s way of spending time started to change.
- イ Takuma kept running through the marathon race.
- ウ Takuma was satisfied with his long efforts to make a new habit.
- エ Takuma learned how his friend spent the morning time.
- オ Takuma didn’t eat much for breakfast in the morning.

5 次の英文は、拓真のスピーチを聞いた生徒が書いたコメントです。本文の内容をふまえて、
[]に入る最も適切なひとつづきの英語4語を、本文中から抜き出して書きなさい。

From your speech, I learned how to improve our daily lives. You said that it is important for us to [] because we can make a good habit as a result of doing that. I also want to make my daily life better, so I will read books every day to create my own habit.

第 四 問 次の英文は、高校生のトム (Tom)、幸太 (Kota)、サリー (Sally)、洋子 (Yoko) が、タブレット端末などの情報機器 (information devices) を学習で使うことについて、英語の授業で自分の意見を述べたときのものです。これらの英文を読んで、あとの 1～5 の問いに答えなさい。

	Information devices are very useful for *learning. We can watch a lot of learning videos with our *tablet computers. I often watch short videos to study Japanese. Japanese is difficult, and before I started watching them, it wasn't easy to keep studying. But those videos have some *quizzes for beginners, so now I feel that ① <u>studying Japanese is not so hard</u>. I even enjoy studying it. As a result, I study it much longer than before. I hope my Japanese skills will be better.
	I often use information devices for learning, but I'm careful about when I use them. Actually, I decided to stop using devices at 9 p.m. after I read some articles last year. They say that we sometimes can't sleep well if we keep watching *screens of devices at night, especially in the case of young people. They also say that some device users have headaches. Many people enjoy learning with devices, but it's important to think about when we should not use them.
	At home, I use my information devices when I want to get useful information for my reports. I can do it easily on the internet. However, one day, I realized that I didn't have my own ideas in my report. I thought, "Can I call this my original report? Maybe I depend on the information from devices too much." Now, when I write a report, I use information from devices, but create my own original ideas, too. In our life, we sometimes face problems without easy answers. To solve them, we have to think a lot. We should remember this when we use devices.
	Information devices can give us new experiences in our learning. In the past, we didn't have many *chances to learn with people living abroad, but now, we can do it easily with such devices. I'm in the science club at school, and our club has started some research with high school students in Thailand *online. With our tablet computers, we *exchange ideas in English. Yesterday, I wanted to get some opinions for a slide I made. I asked, " ② this slide?" and a student in Thailand replied, "Good, but it's better to use more graphs." It's like real *face-to-face communication! If we didn't have these devices, we couldn't have such a great experience.

<注> *learning 学習 *tablet computer(s) タブレット端末 *quizzes ← quiz
 *screen(s) 画面 *chance(s) 機会 *online オンラインで
 *exchange～ ～を交換する *face-to-face communication 対面のコミュニケーション

1 情報機器を使用する上で注意すべき点について述べている人物の組み合わせとして、最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|--------|---|-------|---------|---|------|
| ア Tom | — | Kota | イ Tom | — | Yoko |
| ウ Kota | — | Sally | エ Sally | — | Yoko |

2 下線部①のようにトムが感じている理由を、本文の内容から具体的に**日本語**で書きなさい。

3 次の(1)、(2)の質問に対する答えを、本文の内容に合うように**英語**で書きなさい。

(1) What did Kota do after he read some articles last year?

(2) When does Sally use her information devices at home?

4 本文中の ② に入る適切な内容を考えて、**英語**で書きなさい。

5 次の英文は、4人の意見を聞いた果穂（Kaho）とマイク（Mike）の会話です。本文の内容をふまえて、あとの(1)～(4)の問いに答えなさい。

Kaho: From their opinions, we can think about information devices a lot.

Mike: I'm interested in Tom's opinion. He said that he (①) his studying time with the devices. I want to know more about his experience.

Kaho: Well, I think we should also listen to Kota's opinion as device users. He talked about the relationships between the device use and the users' ② .

Mike: That's true. Also, I think we should not miss Sally's message, " ③ ." It's important for all of us.

Kaho: Right. And I'm interested in Yoko's opinion. She said that ④ . I want to enjoy learning with foreign people, too.

Mike: Well, from the students' opinions, we should look for better ways to use devices.

(1) (①) に入る最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア checked イ increased ウ planned エ showed

(2) ② に入る最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア learning behaviors イ language skills
ウ ideas about young people エ health conditions

(3) ③ に入る最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア It's important to use devices when we try to find answers for problems easily
イ We have to keep using devices to create our own original ideas for reports
ウ We should use our brains without depending on information from devices too much
エ It's better for us to stop using devices and learn a lot from people around us

(4) ④ に入る最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア information devices are very effective when we want to improve our English
イ something difficult before has become easier thanks to information devices
ウ it's necessary for high school students to do research with information devices
エ a lot of students should talk with foreign people without information devices

第 五 問 ある学校の英語部では、誰にとってもわかりやすい校舎案内図（school map）を作っており、その中に記載するシンボルマーク（symbol）の1つについて、次のような掲示物で意見を募集しています。この英文を読んで、質問に対するあなたの意見を、**3文以上の英語**で書きなさい。

〔掲示物の一部〕

School Library Symbol

Look at the symbol below. For a new school map, we have made this as a school library symbol. We hope many people will understand that this symbol means the library.

< symbol >



Now, please tell us your opinions to the questions below.

Do you think people can understand this symbol easily? Why do you think so?

これから、**第一問**の放送によるテストを行います。放送を聞いて**問題 1**から**問題 4**に答えなさい。
放送中に問題用紙にメモをとってもかまいません。

問題 1、英語を聞いて、その内容を最も適切に表しているものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から
1つ選んで、その記号を**解答用紙**に書きなさい。英語は、それぞれ**2回**放送されます。では、始めます。

1 番 This weekend, it'll be sunny on Saturday, but it'll be rainy on Sunday.
(この間約 4 秒)

繰り返します。

This weekend, it'll be sunny on Saturday, but it'll be rainy on Sunday.
(この間約 4 秒)

2 番 Go along this street, and turn left at the next corner. Then, you can see the
restaurant on your right.
(この間約 4 秒)

繰り返します。

Go along this street, and turn left at the next corner. Then, you can see the
restaurant on your right.
(この間約 7 秒)

次の問題に移ります。ページをめくり、2ページに進んでください。
(この間約 4 秒)

問題 2、咲 (Saki) とジョン (John) が会話をします。二人の会話は、問題用紙に示されている順
に進みます。空欄に入る発言として最も適切なものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、
その記号を**解答用紙**に書きなさい。会話の空欄のところでは、チャイム音 (チャイム音) が鳴ります。
会話は、それぞれ**2回**放送されます。では、始めます。

1 番 Saki: Did you have a good holiday, John?
John: Yes. I enjoyed shopping at a department store.
Saki: Nice! What did you get there?
John: (チャイム音)
(この間約 4 秒)

繰り返します。

Saki: Did you have a good holiday, John?
John: Yes. I enjoyed shopping at a department store.
Saki: Nice! What did you get there?
John: (チャイム音)
(この間約 4 秒)

2 番 John: Saki, what's wrong?
Saki: I have a problem with my bike. I've just called my mother, and she will be here soon.
John: I see. Do you need any help?
Saki: (チャイム音)
(この間約 4 秒)

繰り返します。

John: Saki, what's wrong?
Saki: I have a problem with my bike. I've just called my mother, and she will be here soon.
John: I see. Do you need any help?
Saki: (チャイム音)
(この間約 7 秒)

次に問題3に移ります。佐藤先生 (Ms. Sato) と留学生のケビン (Kevin) が会話をします。そのあとで会話について3つの質問をします。それらの質問に対する答えとして最も適切なものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。はじめに会話、続いて質問の順で、2回放送されます。では、始めます。

Ms. Sato: Kevin, how's your stay here in Japan?
Kevin: It's exciting! Everything is new to me. I'm enjoying my stay very much.
Ms. Sato: I'm glad to hear that. Oh, I have something to tell you. A big festival is held near our town in winter and it's very popular. It will start next week.
Kevin: Really? What kind of festival is it?
Ms. Sato: You can see a lot of things made of snow, such as buildings and anime characters. Some of them are very large and visitors are surprised. Also, some local bands play wonderful music. You can enjoy listening to it.
Kevin: That sounds interesting. I want to go!
Ms. Sato: Well, the festival is held outside and it's very cold, so be prepared with your clothes.
Kevin: All right. I'll wear a coat. At the festival, I want to take some pictures and send them to my family in Australia.
Ms. Sato: Oh, they'll be happy to see them.

続いて質問に移ります。

- 1 番 How does Kevin feel about his stay?
(この間約 4 秒)
- 2 番 What can visitors do at the festival?
(この間約 4 秒)
- 3 番 What is Ms. Sato's advice to Kevin?
(この間約 7 秒)

会話を繰り返します。

Ms. Sato: Kevin, how's your stay here in Japan?
Kevin: It's exciting! Everything is new to me. I'm enjoying my stay very much.
Ms. Sato: I'm glad to hear that. Oh, I have something to tell you. A big festival is held near our town in winter and it's very popular. It will start next week.
Kevin: Really? What kind of festival is it?
Ms. Sato: You can see a lot of things made of snow, such as buildings and anime characters. Some of them are very large and visitors are surprised. Also, some local bands play wonderful music. You can enjoy listening to it.
Kevin: That sounds interesting. I want to go!
Ms. Sato: Well, the festival is held outside and it's very cold, so be prepared with your clothes.
Kevin: All right. I'll wear a coat. At the festival, I want to take some pictures and send them to my family in Australia.
Ms. Sato: Oh, they'll be happy to see them.

続いて質問に移ります。

1 番 How does Kevin feel about his stay?

(この間約 4 秒)

2 番 What can visitors do at the festival?

(この間約 4 秒)

3 番 What is Ms. Sato's advice to Kevin?

(この間約 9 秒)

次に**問題 4**に移ります。来月、アメリカに帰国する予定の留学生のルーシー (Lucy) があなたに話しかけます。ルーシーの質問に対するあなたの答えを、**英語で解答用紙**に書きなさい。英語を**2回**放送したあとに、答えを記入する時間をとります。では、始めます。

You know, I'm going to go back to America soon. My host family members have been so kind to me. Before I leave Japan, I want to do something for them. I need an idea. What can I do?

(この間約 4 秒)

繰り返します。

You know, I'm going to go back to America soon. My host family members have been so kind to me. Before I leave Japan, I want to do something for them. I need an idea. What can I do?

(この間約 15 秒)

これで放送によるテストを終わります。次の問題に移ってください。

備考欄	配点	第一問		
	25			
	3	問題1	1番	イ
	3		2番	ア
	3	問題2	1番	イ
	3		2番	エ
	3	問題3	1番	ア
	3		2番	エ
	3		3番	ウ
配点は内容について2点、表記について2点とする。採点基準は各学校で定める。	4	問題4	(例) You can write a message for them in ----- Japanese.	

備考欄	配点	第二問		
	20			
	2	1	(1)	イ
	2		(2)	エ
	2		(3)	ア
	4	2	(1)	エ → ア → ウ → イ
	4		(2)	ウ → イ → オ → ア → エ
	3	3	(1)	ア
	3		(2)	ウ

備考欄	配点	第四問		
	29			
	2	1	ウ	
	4	2	(例) トムが日本語を勉強するためによく見る 短い動画には、初心者のためのクイズがあるから。	
	4	3	(1)	(例) He decided to stop using devices at ----- 9 p.m.
	4		(2)	(例) She uses them when she wants to get ----- useful information for her reports.
	3	4	(例) What do you think about -----	
	3	5	(1)	イ
	3		(2)	エ
	3		(3)	ウ
	3		(4)	イ

備考欄	配点	第三問		
	18			
	2	1	ウ	
	4	2	(例) 毎朝早く起きて、ジョギングに行くこと。	
	4	3	(例) They encouraged him before his jogging ----- every day.	
	4	4	オ → エ → ア → イ → ウ	
	4	5	continue to do something	

備考欄	配点	第五問		
	8			
配点は内容について5点、表記について3点とする。採点基準は各学校で定める。	8	(例) Yes, I do. In this symbol, we can see a book ----- and a person reading it. So, people can easily ----- understand that this place is for people who ----- want to read books.		

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

1 出題のねらいと内容

言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識及び技能並びに話すこと・聞くこと、書くこと及び読むことに必要な思考力、判断力、表現力等、国語で正確に理解し適切に表現する能力を総合的にみることがねらいとした。

第一問では、基礎的な漢字を読む力や書く力、用言の知識、行書の特徴についての知識をみようとした。

第二問では、職場体験の報告会に向けたリハーサル場面を素材とし、言葉の特徴や使い方、情報の扱い方についての知識及び技能、聞き手を意識した発表の仕方の工夫など、話す力をみようとした。

第三問では、大学生作家の主人公が、取材した競歩選手との関わりを通して、小説を書き続けていく思いを強くする場面を描いた文章を素材とし、文章の内容や展開、表現につ

いて、叙述を基に的確に捉える力や適切に表現する力をみようとした。

第四問では、基礎という概念をもとに、本来の建築の姿を取り戻す必要性を説く文章を素材とし、書き手のものの見方や考え方について、叙述を基に的確に捉える力や適切に表現する力をみようとした。

第五問では、俳諧修行の要点を述べた俳諧論を素材とし、古典に関する基礎的な知識を基に、現代語訳や語注などを手がかりにして、古人のものの見方や考え方を的確に捉える力をみようとした。

第六問では、国語辞典を読み比べた三人の会話を踏まえて、言葉の変化について気づいたことと考えたことを書くことによって、豊かに発想する力及び自分の考えを適切に表現する力をみようとした。

2 結果の考察

＜第一問＞知識及び技能

単語の類別や活用についての理解に課題

問一 漢字の読み書きの問題。いずれの漢字も得点率が高く、漢字の読み書きについての知識が定着しているといえる。⑥「減速」については、「原則」という誤答が多くみられた。他教科等の学習や日常生活の中でも漢字を意識させるとともに、必要に応じて辞書を引くことを習慣付け、様々な文脈の中で適切な漢字を使うことができるように今後も指導したい。

問二 文中の用言を判別することができるかをみる問題。得点率は24.5%にとどまり、誤答のうち92.7%が、文中の用言の数を正答で

ある6つよりも少ないと判断していた。単語の類別や活用についての理解に課題があるといえる。文において、それぞれの単語のもつ文法的な役割を考える中で、品詞の分類や単語の活用について理解を深めることが重要である。

＜第二問＞知識及び技能並びに思考力、判断力、表現力等「話すこと・聞くこと」

聞き手の立場に立って話の構成や表現を工夫することに課題

問六 話の構成や表現を工夫する際の観点を捉えることができるかをみる問題。得点率は34.1%にとどまった。動画でリハーサルを振

り返ることには聞き手の立場で考えられるという効果があるが、効果の具体について説明しきれていない解答が多かった。自分の発表を振り返ったり、互いの発表を評価し合ったりする活動を通して、聞き手の立場に立って話の構成や表現を工夫し、自分の考えを分かりやすく伝える力を伸ばしたい。

＜第三問＞思考力、判断力、表現力等「読むこと」文学的な文章

文章の表現の特徴を捉えることに課題

問四 登場人物の心情を示す描写を、的確に捉えることができるかをみる問題。得点率は64.8%であったが、a・b層とc層の差が大きく、c層では、登場人物の心情を、行動の描写を基に捉えることができていなかったといえる。登場人物の言動や情景の描写について考えたことを伝え合う活動を取り入れるなど、生徒が細部の描写にも着目しながら文章を読み、登場人物の心情を的確に捉えることができるように指導したい。

問六 文章の表現の特徴を捉えることができるかをみる問題。得点率は39.8%にとどまった。倒置表現や語り手の視点など、本文の表現の特徴を捉えることができていなかったといえる。文章中の特徴的な表現の効果について、根拠を明確にしながら自分の考えを書いたり発表したりする活動を一層充実させ、表現の特徴を捉える力の育成を図りたい。

＜第四問＞思考力、判断力、表現力等「読むこと」説明的な文章

叙述を基に文章の構造を捉え、要旨を把握することに課題

問四 叙述を基に、書き手のものの見方や考え方を捉えることができるかをみる問題。得

点率は13.7%にとどまった。本文の具体例を概念化しながら文章全体の要旨を把握することができていない解答が多かった。キーワードや接続語に着目して情報を整理するなど、叙述を基に文章の構造を捉え、要旨を把握する力を育成したい。

＜第五問＞知識及び技能「我が国の言語文化」

現代語訳などを手がかりに、古典に表れたものの見方や考え方を捉えることに課題

問二（二） 本文の叙述に基づいて、古典に表れたものの見方や考え方を捉えることができるかをみる問題。得点率は47.4%にとどまった。俳諧修行についての筆者の考えを、現代語訳や語注などを手がかりにして捉えることができていなかったといえる。現代語訳や古典について解説した文章、音声や映像メディアを活用するなど、古典の世界を想像できるようにするための授業づくりが望まれる。

＜第六問＞思考力、判断力、表現力等「書くこと」

目的や意図に応じた文章を書くことに課題

自分の気づいたことと考えたことを適切に表現できるかをみる問題。得点率は51.7%にとどまり、昨年度よりも7.9ポイント下がった。3人の会話を踏まえていなかったり、言葉の変化に触れていなかったりする解答が多くみられた。文章を書く学習では、何のために、どのような意図をもって書くのかを具体的に考えるとともに、自分の書いた文章が目的や意図に応じたものになっているかを確認、客観的な視点から文章を整えることができるように指導したい。

問題				正答率 →		← 無答率		得点率	調査書総点別得点率 (a:135～111点 b:110～88点 c:87～48点)			
第一問	問一	①	記述	知・技 漢字	99.3%0.0%		99.3%	a	100.0%			
		②	記述	知・技 漢字	82.8%3.3%		82.8%	a	93.0%			
		③	記述	知・技 漢字	94.0%2.3%		94.0%	a	98.3%			
		④	記述	知・技 漢字	84.5%7.8%		84.5%	a	99.1%			
		⑤	記述	知・技 漢字	79.5%7.3%		79.5%	a	97.4%			
		⑥	記述	知・技 漢字	77.5%4.8%		77.5%	a	90.4%			
	問二	多肢選択	知・技 用言	24.5%			0.5%	24.5%	a	19.1%		
	問三	多肢選択	知・技 書写	88.8%0.0%		88.8%	a	96.5%				
第二問	問一	多肢選択	話・聞 発言	95.3%0.0%		95.3%	a	100.0%				
	問二	多肢選択	知・技 発言	96.8%0.0%		96.8%	a	99.1%				
	問三	多肢選択	知・技 資料提示	88.3%0.0%		88.3%	a	96.5%				
	問四	記述	知・技 敬語	72.8%3.5%		75.3%	a	83.9%				
	問五	多肢選択	知・技 情報の整理	57.5%			0.3%	57.5%	a	80.9%		
	問六	記述	話・聞 発言	20.3%			8.3%	34.1%	a	52.0%		
第三問	問一	多肢選択	読む 精査解釈	81.5%0.0%		81.5%	a	96.5%				
	問二	多肢選択	読む 精査解釈	75.3%0.3%		75.3%	a	92.2%				
	問三	記述	読む 精査解釈	24.0%			13.5%	37.4%	a	61.7%		
	問四	抜き出し	読む 構造内容	64.5%10.0%		64.8%	a	89.3%				
	問五	記述	読む 精査解釈	4.0%			26.0%	23.6%	a	37.7%		
	問六	多肢選択	読む 表現	39.8%			1.3%	39.8%	a	52.2%		
第四問	問一	多肢選択	読む 精査解釈	76.3%0.3%		76.3%	a	91.3%				
	問二	抜き出し	読む 精査解釈	75.0%5.8%		75.7%	a	93.3%				
	問三	(一)	記述	読む 精査解釈	15.5%			18.3%	25.5%	a	43.5%	
		(二)	多肢選択	読む 精査解釈	79.0%2.0%		79.0%	a	94.8%			
	問四	記述	読む 精査解釈	2.0%			33.5%	13.7%	a	29.6%		
	問五	多肢選択	読む 構造内容	70.3%2.8%		70.3%	a	87.0%				
第五問	問一	記述	知・技 言語文化	77.8%2.0%		77.8%	a	97.4%				
	問二	(一)	抜き出し	知・技 言語文化	38.3%			8.5%	44.5%	a	71.3%	
		(二)	多肢選択	知・技 言語文化	47.3%2.0%		47.4%	a	73.9%			
		(三)	記述	知・技 言語文化	8.3%			29.3%	22.8%	a	44.1%	
第六問		論述	書く 意見文	1.8%			4.0%	51.7%	a	65.5%		
計								56.6%	a	71.5%		

正答率:完全正解の割合 得点率:配点に対する平均点の割合

							備考欄
3	5	3	4	3	2	20	配点
問六	問五	問四	問三	問二	問一	第三問	
工	(例) 自分に対する からの励ましを受けて止め、どんなに辛くても小説を書き続けている。		(例) が書いた小説を読んで腹立たしさを感じている。	イ	ウ		
	(五十四字)		(二十三字)				

						備考欄	
						14	配点
4	2	2	2	2	2		
問六 (例) 聞き手の立場で考えられる (十二字)	問五 ウ	問四 (例) お聞きする	問三 イ	問二 イ	問一 エ	第二問	

						漢字は、点画に 過不足がなく、 字形の正しさを 損なっていないけ れば正答とす る。		備考欄 出点
2	2	2	2	2	2	2	16	
問 三	問 二	問 一						第 一 問
エ	ウ	⑥ ゲン シン ク 減速	⑤ モ ウ フ 毛布	④ テ 照	③ めい 銘 がら 柄	② ほどこ 施	① とど 届	
			(らす)		(す)	(く)		

採点の基準等	配点
20	

第 六 問

△採点の基準▽

1 内容及び表現について

国語辞典についての三人の会話を踏まえて、言葉の変化について気づいたことと考えたことが、適切に表現されているか。

15点

2 表記について

5点

(1) 誤字や脱字はないか。

(2) 仮名遣いや送り仮名は正しいか。

(3) 漢字、ひらがな、カタカナの使い分けは適切であるか。

(4) 句読点やその他の符号の使い方は適切であるか。

(5) 原稿用紙の使い方は正しいか。

△留意事項▽

採点は、前記の△採点の基準▽1、2によることとするが、次の点についても留意すること。

(1) 字数が百六十字に満たないものは、総点を10点以下とし、二百字を超えたものについては、その程度に応じた適宜減点する。

(2) 表記の誤りについては、前記の△採点の基準▽の2によって適宜減点する。

					備考欄
4	2	2	2	10	配点
問二			問一		第五問
(三)	(二)	(一)			
て学ぶ (例) 先達が作った俳句をひたすら大事にし (二十字)	工	上達する	したがいて		

								備考欄	
3	5	3	4	3	2	20		配点	
問五	問四	問三		問二	問一	第四問			
		(二)	(一)						
イ		エ			ア				

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

满点 100 点

第五問 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

*俳諧の修行は、おのが数奇^{すき}たる風の先達の句を一筋^{ひとすぢ}に尊^{たふと}み学^{まな}びて、一句

一句に不審をおこし、難を構ふべからず。もし、解しがたき句あらば、いか

さま故^{ゆゑ}あるらんと工夫して、あるいは功者に尋ねべし。わが俳諧の上達する

にしたがひて、人の句も聞こゆるものなり。始めより一句一句を咎^{とが}めがちな

る作者は、吟味のうちに月日重なりて、終^{つひ}に功の成りたるを見ず。

〔去来抄^{きょらいしょう}〕による

*をつけた語句の△注▽
俳諧——ここでは、俳句を創作することを指す。

問一 本文中の「したがひて」を現代仮名遣いに改めなさい。

問二 次の対話は、この文章について話し合ったものです。あとの(一)～(三)の問いに答えなさい。

〈Xさん〉 この文章には、俳句の創作の心構えが書かれているよ。

〈Yさん〉 筆者は、俳句の創作が「A」につれて、他の人の俳句も分かるようになっていくものだから、Bはしてはならないこととしているね。

〈Xさん〉 うん。俳句の創作では、好きな作風のCをとを筆者は重視しているね。もし、その過程で、理解しにくい俳句があったときには、そこにどのような理由があるかについて自分で考えをめぐらしたり、それでも分からないときは、熟

練者に尋ねたりすることが大事だと述べているね。

〈Yさん〉 なるほど。筆者の考え方は納得できるな。

(一) A に入る言葉を、本文中から四字でそのまま抜き出して答えなさい。

(二) B にあてはまる表現として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 俳句の内容が分からないからといって、すぐに他の人に聞くこと
イ 修辭の工夫を考えてばかりで、実際に俳句を創作しないこと
ウ 他の人が作った俳句の表現をそのまま受け入れ、吟味しないこと
エ 他の人が作った俳句に対して疑問を持ち、欠点を探すこと

(三) C にあてはまる適切な表現を考えて、二十字以内で答えなさい。

第六問

国語辞典に興味を持った三人の中学生たちが、複数の国語辞典を読み比べて、会話しています。

〈Aさん〉 同じ時期に発行された辞典でも、ある言葉を載せている辞典と載せていない辞典があったよ。

〈Bさん〉 そうだね。発行された時期によつては、同じ辞典でも、載せている言葉に違いがあるね。辞典はある程度の期間を置いて載せる言葉の見直しがされるようだよ。

〈Cさん〉 見直しによつて、以前には誤用とされていた意味が、誤用とされなくなることもあるようだね。

三人の会話を踏まえて、言葉の変化についてあなたが気づいたことと考えたことを、百六十字～二百字で書きなさい。

問一 本文中に

①

とありますが、筆者が考える「」とは、どのようなものですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア

イ

ウ

エ

問二 本文中に

②

「」とありますが、次の文章は、このことについての筆者の考えをまとめたものです。にあてはまる適切な表現を、本文中から十五字で探し、はじめの五字で答えなさい。

問三 本文中に

③

「」とありますが、次の対話は、このことについて話し合ったものです。あとの(一)、(二)の問いに答えなさい。

＜Xさん＞

＜Yさん＞

＜Yさん＞

(一) A にあてはまる適切な表現を考えて、二十字以内で答えなさい。

(二) B にあてはまる表現として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア

イ

ウ

エ

問四 本文中に

④

「」とありますが、ここで筆者が述べる「」とはどのようなものですか。五十五字以内で説明しなさい。

問五 本文の論の進め方について説明したものとして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 話題として取り上げる課題を示したあとで、課題を解決するためのの可能性について、具体的に言及している。

イ 話題の要点となる内容を提示したあとで、の変化に触れながら、筆者の考えを提示している。

ウ 世間で話題になっているを列挙したあとで、に関する考え方の変化について、分析的に紹介している。

エ に関する筆者の考えを述べたあとで、その根拠となるデータを示しながら、筆者の考えを再提示している。

著作権保護のため本文等は掲載しておりません。

著作権保護のため本文等は掲載しておりません。

問一 本文中に「^①」とありますが、ここでの□の心情を説明したものととして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア □に対して自分の思いを打ち明けられるか不安に感じている。
イ □を夜の屋外で待たせてしまったことを心苦しく思っている。
ウ □に自分の思いを早く伝えたいという気持ちを募らせている。
エ □が誰にも行き先を告げずに勝手に外出したことを怒っている。

問二 本文中に「^②」とありますが、このときの□の様子を説明したものととして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 思うような小説が書けずに落ち込んでいる自分のことを□がからかってきたため、冷静になれずにいる。
イ 手渡した小説に対する□の感想を聞く状況が迫り、緊張を緩めようとしても緩められずにいる。
ウ 感情的になった自分を□が理屈で言い負かそうとしてきたため、気持ちを落ち着けられずにいる。
エ 自分が書いた小説を一方的に非難し続ける□に対し、警戒心を解こうとしてもできずにいる。

問三 本文中に「^③」とありますが、このときの□の心情を、二十五字以内で説明しなさい。

問四 本文中に「^④」とありますが、次の対話は、□がこのような述べた理由について話し合ったものです。□にあてはまる言葉を、本文中から十字でそのまま抜き出して答えなさい。

〈Xさん〉 □の小説を「□」と言っていたのに、どうしてこのように述べたのだろう。
〈Yさん〉 □の「□」という発言から、□は描写された主人公に自分を重ね、調子がいいときの自分の姿を見いだしたことが分かるね。
〈Xさん〉 なるほど。だから□はこの小説を面白いと感じたのか。
□の小説に対する□の気持ちだが、原稿を□様子に表れているね。

問五 本文中に「^⑤」とありますが、このときの□の心情を、五十五字以内で説明しなさい。

問六 本文の表現の特徴について説明したものととして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア □の視点から場面を描写することにより、□の小説に対する□の心情の起伏を鮮明に表している。
イ 短文を多く用いることで、□と□それぞれが抱える困難が次々と解消されていく様子を効果的に描いている。
ウ 場面の初めと終わりに空の暗さを描写することで、長い時間が経過したことを描いている。
エ 倒置表現を用いることによって、場面の様子や登場人物の心情を印象的に描き出している。

著作権保護のため本文等は掲載しておりません。

著作権保護のため本文等は掲載しておりません。

第二問

ある中学校のAさんたち三人の班は、農場を経営する山川さんのもとで、三日間の職場体験を行いました。Aさんたちは、職場体験で学んだことを発表する校内報告会に向けてリハーサルを行い、リハーサルの様子を動画に撮影しました。次は、発表をよりよくするために、撮影した動画を見ながら三人で話し合っているときの様子です。【話し合いの一部】を読み、あとの問いに答えなさい。

【話し合いの一部】

〈Aさん〉 それでは、私が発表を担当する三日目の部分の動画を見てく
ださい。発表をよくするために、アドバイスをお願いします。



〔動画〕を再生する。

〔動画〕

三日目は屋内で作業をしました。①皆さんは屋内での作業と聞いて、どのような作業を思い浮かべますか。屋内での作業には、収穫した野菜の出荷準備、農機具の整備など、いろいろな作業がありますが、この日は、作業場で、収穫後に乾燥させたキタアカリという早生品種②のジャガイモの出荷準備をしました。こちらの写真をご覧ください。これがキタアカリです。山川さんの農場では、出荷前のジャガイモを機械でサイズごとに仕分けするなど、作業の一部を機械で行っています。従業員の方々は、仕分けされたジャガイモに傷がないかを点検して箱に詰めます。私たちは、その箱を山川さんと一緒に運びました。



〔動画〕の再生を一時停止する。

〈Aさん〉

② ここまでのところで、アドバイスをお願いします。

〈Bさん〉

③ 「早生品種」という言葉には説明が必要ではないでしょうか。聞き手にとってはなじみのない言葉かもしれません。

〈Aさん〉

確かにそうですね。早く成熟するため、種まきから収穫までの期間が短い品種のことをいいます、といった説明を加えます。ほかにはありますか。

〈Cさん〉

発表の中に「作業の一部を機械で行っています。」とありましたが、聞き手がイメージできるように、④ ジャガイモの写真だけではなく、その様子を撮った写真も示してはどうですか。

〈Aさん〉

なるほど。農場で写真をたくさん撮ったので、様子が伝わる写真を探して、聞き手に示したいと思います。ほかに何か気づいたことはありませんか。なければ、続きを再生します。

〈Cさん〉

はい、続きを見てみましょう。



〔動画〕の続きを再生する。

〔動画〕

この日の昼休みに、ジャガイモに傷がないかを点検する目的について、山川さんから聞くことができました。④山川さんによると、傷のあるジャガイモは傷みが早くなるそうです。自分たちが作った野菜を、安心しておいしく食べてもらえるように、一つ一つ点検しているとのことでした。

山川さんのお話から私たちが学んだことは、仕事に対する責任です。山川さんの農場では、作業の効率だけを優先するのではなく、ジャガイモに傷がないかどうかを人が一つ一つ点検するなど、人の手で責任を持って品質を管理していたことが、強く印象に残っています。

三日目の報告は以上です。



〔動画〕の再生を一時停止する。

〈Aさん〉

今見た部分についてどうですか。

〈Cさん〉

山川さんのお話から私たちが学んだことを伝えるところでは、⑤を話したあとに、その⑥について述べていたの
で、聞き手にとって内容を捉えやすい構成になっていたと思います。

〈Bさん〉

Aさんが伝えたいことが伝わってきました。

〈Aさん〉

⑦ 三人で動画を見て、リハーサルを振り返ることができたので、よりよい発表になりそうです。

〈Bさん〉

それでは次に、私が発表を担当する三日間全体のまとめの部分を見てください。

令和 7 年度
公立高等学校入学者選抜学力検査問題
国語

第一問 次の問いに答えなさい。

問一 次の文の——線部①～⑥のうち、漢字の部分はその読み方をひらがなで書き、カタカナの部分は漢字に改めなさい。

・ 自宅に荷物が届く。①

・ 騒音の対策を施す。②

・ さまざまな銘柄の米が並ぶ。③

・ 月の光が庭をテらす。④

・ 厚手のモウフを掛ける。⑤

・ 列車が駅の手前でゲンソクする。⑥

問二 次の文の中に、用言は全部でいくつありますか。正しいものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ある晴れた冬の朝、小学生たちはにぎやかに話しながら、白い雪が残る公園を歩いた。

ア 四つ

イ 五つ

ウ 六つ

エ 七つ

問三 次の行書で書かれた漢字のうち、楷書で書く場合と比べて、点画が省略されているものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 皮

イ 勇

ウ 危

エ 閑